

2025年度

総代会議案検討会議

議案書

ご家族みなさんでご覧ください

とものつくる
笑顔
あふれる未来

とものつくる
笑顔
あふれる未来

※開催会場一覧は、裏表紙に掲載しています。

■議案検討会議では

- ・総代会議案を確認し、内容について理解を深めます。

■みんなで実施すること

- ・組合員の想いや願いが反映されている議案となっているのか、みんなで確認し、第45回通常総代会へつなげていきましょう。

第45回通常総代会開催のお知らせ

- 日時／2025年6月19日（木） 10時～12時（予定）
- 場所／栗東芸術文化会館さくら 大ホール（JR栗東駅東口から徒歩5分）

総代会議案検討会議の開催にあたって



理事長 白石 一夫

日頃より、コープしがの事業や活動にご協力いただきありがとうございます。

みなさんには、第45回通常総代会までの一年間、総代として役割を担っていただいておりますが、早いもので6月の総代会に向けて議案の事前協議をする時期となりました。

秋に開催した「総代のつどい」では、くらしの声やコープしがへの要望など期待をたくさんいただきました。また日常においても組合員のみなさんから寄せられた声を基にして事業と活動の改善を図ってまいりました。

2024年は物価高が続き、コープしがもその影響を受けて、家計にやさしい事業やサービスを展開できたかという点では課題を残す一年であったと認識しています。一方、組合員のみなさんがコープしがを頼りにし、事業と運営にかかわっていただきながら、事業や商品、サービスの質においては、価格以上の価値を提供できるよう努力しつづけた一年でもありました。

2025年は、国連が提唱する「国際協同組合年」にあたります。世界や社会が抱える課題に対して、協同することが解決の糸口になるのではないかと「協同組合」への期待を意味しているのではないのでしょうか。また、戦後80年という、節目の年でもあります。これまでの体験・経験を過去のものとして、未来に向かって私たち自身が活かしていくことが大切だと考えています。

今回の総代会議案検討会議は、昨年の総代会で決定した活動計画がどのように実践でき、何を課題として残したのか。また2025年度をどのように進めていくのかを提案します。5つのたいせつ「たべる」「びわこ」「いのち」「ちいき」「くらし」をテーマに、より一層組合員のくらしに役立つことをめざすとともに、「協同」「平和」も念頭に置き、みなさんと総代会議案の事前協議をすすめていきたいと考えています。

本会議では、総代のみなさんと質疑応答や意見交換を通して、総代会へと議案をつないでいきたいと思っております。みなさんとともに、理念に謳う「ともにつくる 笑顔あふれる未来」をめざしてすすんでいけるよう、コープしがづくりへのご協力をお願いいたします。

そして、第45回通常総代会では、総代のみなさんの納得と同意をもって、くらしづくりの新たな一步を踏み出せるようにと願っています。どうぞ、よろしくをお願いいたします。



震災後14年交流を続けている南三陸町戸倉

目次

総代会議案検討会議の開催にあたって

コープしが理念・コープしが2030年ビジョン・4つの考え方（組合員が協同組合の中で、コープしがの事業や活動をどのように進めていくのか）

数字で見るコープしが

「第1号議案」2024年度事業報告・決算関係書類承認の件	7
2024年度みんなで進めたこと～1年のふり振り返り～	
事業報告書	
決算関係書類（剰余金処分案含む）	

監査報告書

「第2号議案」2025年度活動計画・収支予算承認の件	35
「第3号議案」任期満了に伴う役員選任の件	52
「第4号議案」組合員除名の件	58
特別決議 第45回通常総代会アピール	59

<附属資料>

①総代のつどいを受けて「総代会議案の運営方法の見直しについて」の報告	60
②コープしが“組合員の想い（声）をかたちにつなげる”取り組み	61
③CO ₂ 排出量46%削減に向けたロードマップ	62
④2024年度 数字で見るコープしが<2>	63
⑤コープしがと行政や他団体などとのつながり	66
⑥協同組合のアイデンティティに関する声明	70
⑦第45回通常総代会の開催について	71
⑧2025年度組織活動一覧	72

タイムスケジュール

開催時間は会場により異なります。議案書裏面の会場名と開催時間をご覧ください。

・2時間をめどに開催します。

・午前（10：00～、10：30～）、午後（13：30～、14：00～、15：00～、18：00～）の会場すべて、下記の時間配分で開催します。

①開会あいさつ、役職員の紹介	5分間
②第1号議案の提案と質疑応答	45分間
③第2号議案の提案と質疑応答	45分間
④第3号・第4号議案の提案と質疑応答、特別決議の提案 「総代会議案の運営方法の見直し」についての報告	20分間
⑤閉会あいさつ	5分間

※当日の運営により開催時間の短縮や延長をすることがあります。



コープしが理念

ともにつくる 笑顔 あふれる未来

○私たちは、暮らしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、ともに考える、
そのような人と人とのつながりを大切にします。

○私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれる暮らしを創造し、次代へと継承していきます。

第40回通常総代会(2020年6月10日)で承認されました。

コープしが2030年ビジョン

～やくだつ・つながる・ひろがる～



2030年のコープしがは…

1. 食の安全・安心を大切に、一人ひとりの暮らしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。
2. 誰もが安心してくらせることをめざし、地域の中での役割を担っています。
3. 大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。
4. 組合員と生協で働く誰もが、生き活きと輝き、より良いらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。

※全文は、コープしがホームページに掲載しています

コープしが理念

「ともにつくる 笑顔あふれる未来」

「組合員が協同組合の中でコープしがの事業や活動をどのようにすすめていくのか～4つの考え方～」

●「私たちの生協」って

生協は「今のくらしをよりよくしたい」と願いを込めて組合員がつくった組織です。社会情勢が厳しかった1970年代、滋賀県に初めて生協ができました。4つの生協が合併してコープしがが生まれたのは1993年。組合員は出資し、利用し、声を出し合う、コープしがのオーナー。そして「くらしの主人公」です。くらしの中のふとした声に共感し重ね合うことで、よりよい仕組みが生まれます。

同じ願いを持つ仲間とともに「私（たち）の生協」をつくりましょう。

●「利用する」ということ

くらしの変化は誰も予測できないけれど、今までと変わらず安心して事業やサービスを利用できることはとても大切です。

たとえば、もずくを買うこと。もずくを買うことによって珊瑚基金に寄付し、海の豊かさを守ること、つまりSDGsにもつながります。私たちが生協を利用することは社会とつながっています。

もっとくらしの中で生協の商品やサービスを利用しましょう。

●「よりよいくらしをともにつくる」ということ

コロナ禍での大きな社会変化を経て、あらためて人のあたたかさや人とのつながりを強く求めるようになりました。

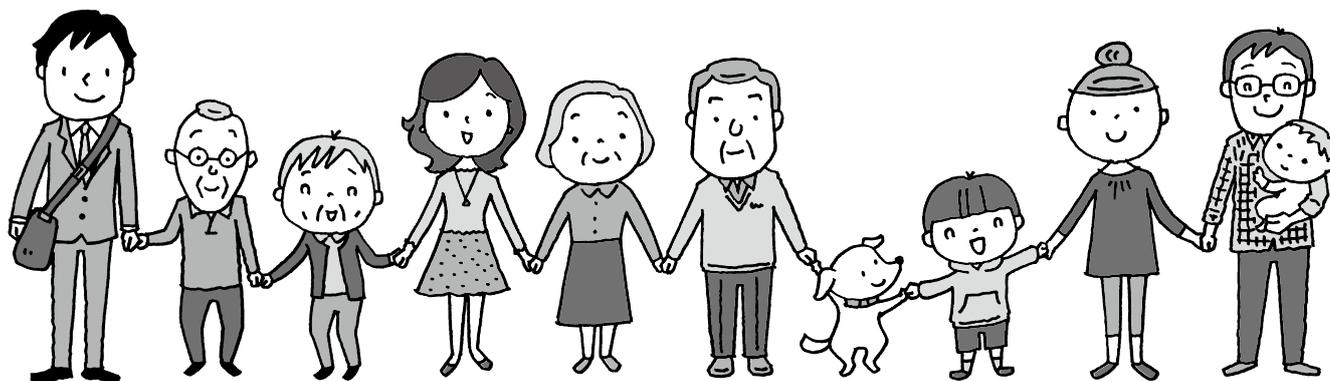
視野を少し広くもち、私たちに何ができるか考え学び合い、よりよいくらしをともにつくる一歩を踏み出しましょう。

●笑顔あふれる未来に向かって

明日を信じて、笑顔あふれる未来を願って、みんなとともに歩いていきませんか。

人と人がつながることで生まれる安心や感謝。そして知恵や思いやりを次代へとつないでいきましょう。

『やくだつ、つながる、ひろがる』コープしがの実現をめざし、組合員と役職員がひとつになって、もっともっと、生協の仲間、協同の輪を滋賀に広げていきましょう。



数字で見るコープしが 2024年度

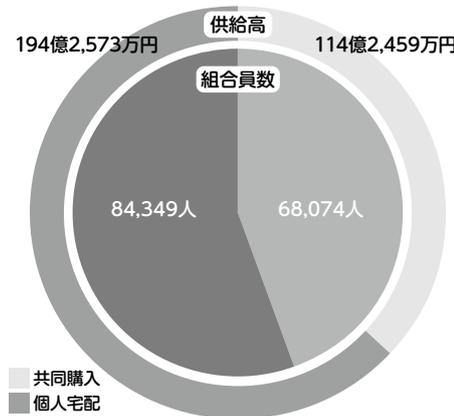
(2024年3月21日～2025年3月20日)

- 組合員数……………225,662人 (前年比100.8%)
- 加入者数…………… 10,323人 (前年比 93.9%)
 - 宅 配…………… 7,621人 (前年比 94.5%)
 - 店 舗…………… 2,702人 (前年比 92.0%)
- 出資金…………… 1,368,113万円 (前年比101.3%)
 - 一人当たり出資金…………… 60,626円 (前年比100.6%)
- 供給高…………… 4,025,896万円 (前年比101.2%)
 - 一人当たり月利用高…………… 14,866円 (前年比100.5%)
- 経常剰余金……………175,982万円 (前年比110.3%)

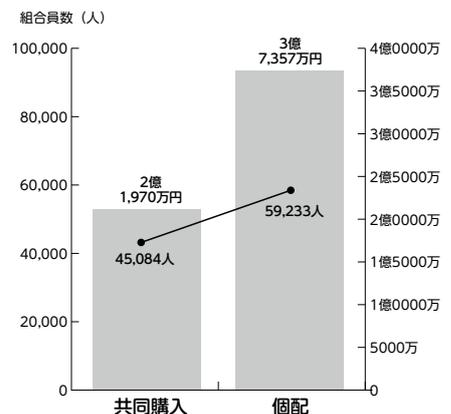
宅配事業

宅配事業総供給高
307億8,728万円
(前年比101.1%)

共同購入と個配の割合



供給高と利用人数 (1回あたり)



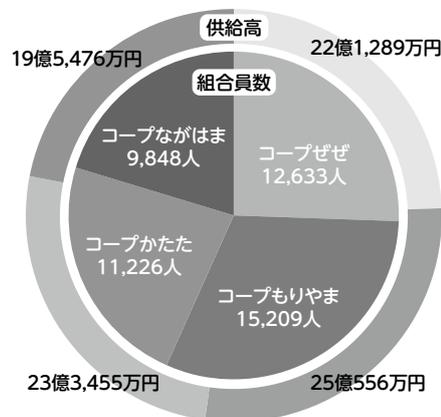
eフレンズ

- 供給高…………… 935,010万円 (前年比102.9%) (3/3回まで)
- 登録組合員数…………… 89,007人 (前年比104.1%) (3/3回まで)

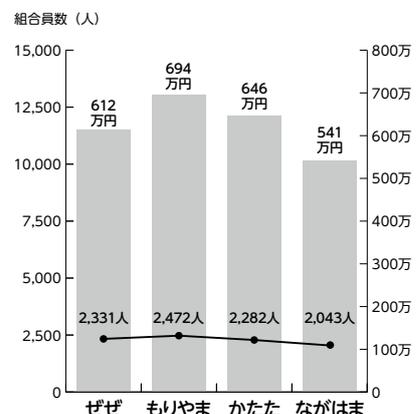
店舗事業

店舗事業総供給高
89億1,713万円
(前年比104.9%)

店舗別割合



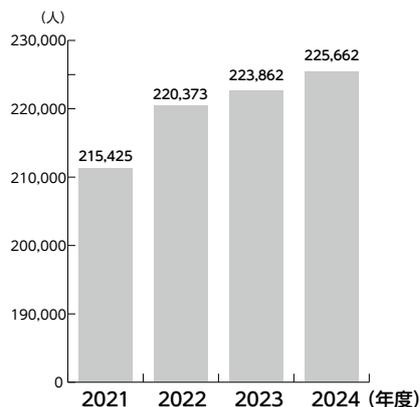
店舗別供給高と利用人数 (1日あたり)



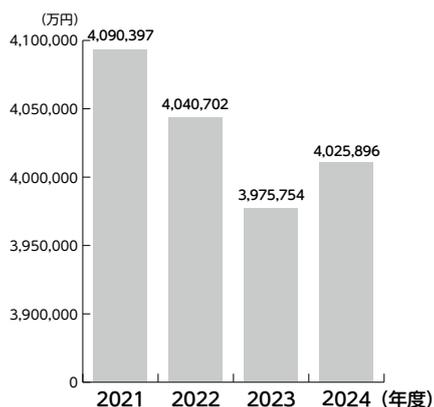
- その他の組合員数…………… 2,720人 (前年比 83.4%) 旧ミニコープ店組合員・所在不明組合員

注釈) 万円単位以下切り捨て表示としています。このため、表記の項目ごとの合計と全体の金額が合わない場合があります。

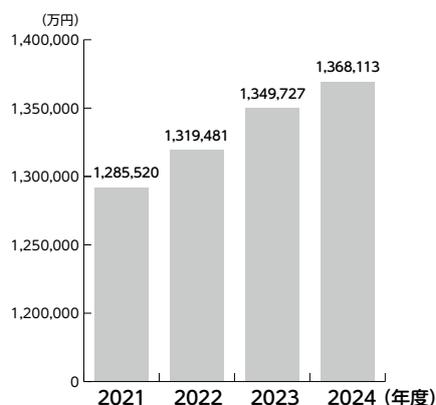
組合員数の経年変化



供給高の経年変化



出資金の経年変化



くらしのサポート事業	供給高	3,171万円	(前年比192.4%)
	利用人数	21,450人	(前年比202.9%)
夕食サポート事業	供給高	52,282万円	(前年比105.2%)
	1日あたりの配食数	3,318食	(前年比104.6%)
介護事業	供給高	6,299万円	(前年比110.3%)
	のべ利用人数	18,838人	(前年比119.4%)

リサイクル回収量 リサイクル回収量 売却額5,110万円 (前年比104.8%)		回収量	前年比	回収率
	商品案内書	2,625,960kg	96.4%	63.9%
	仕分け袋	29,980kg	97.6%	26.5%
	牛乳パック	53,770kg	100.1%	—
	たまごパック	19955.7kg	91.7%	—
	食品トレー	9578.7kg	106.0%	—
	ペットボトル	41,153kg	88.9%	—
	ペットボトルキャップ	2,585.1kg	90.3%	—

【わたしたちのくらしづくり「5つのたいせつ」】

5つのたいせつ

.....
くらしを良くするために、大切にしている5つの視点です。
小さな取り組みの積み重ねがSDGsにつながります。

たべる  たいせつ

いのち  たいせつ

びあこ  たいせつ

ちいき  たいせつ

くらし  たいせつ

たべる  たいせつ

たべることは生きること。私たちにとって食べ物はとても大切なもの。食べ物はすべて生きものです。その命をもらって私たちは生きています。野菜・果物・肉……一生懸命育てた人がいるということ… 食事を一生懸命作ってくれた人がいるということ… 美味しいものを食べて幸せな気持ちになる。感謝する心を大切に、たくさんの「いいね」の声を広げます。

いのち  たいせつ

あらゆる命に限りがあり、だからこそ命はかけがえのないもの。今生きている自分の存在を認め、今生きているかけがえのなさを理解することにより、他の命・他者の存在を尊重するようになります。自分はたった一人で生きているのではなく、他者と共に生きている存在であるという思いを持てることが大切。平和な社会の実現をめざして、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心できるくらしづくりをすすめる場を広げます。

びあこ  たいせつ

滋賀県の約6分の1を占める琵琶湖。周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちのくらしにやすらぎを与えてくれます。湖とその周辺には1000種以上の動植物が生息し、四季折々の眺望と多様な恵みをもたらしてくれます。ふれあう体験の場を通じ自然を大切にする心を育てていきます。

ちいき  たいせつ

核家族化がすすみ、家族だけでは支えきれない暮らしにおける多様なニーズが高まっています。人と人のつながりを再構築するだけでなく、課題解決機能を高めるための多様な組織・個人と協働することが重要になります。住民としての主体性と責任を自覚した人々の支えあい・たすけあう活動をすすめ、みんなが幸せになることをめざします。

くらし  たいせつ

ふつうに生活できている今に感謝し、何気ない毎日を大切に暮らす… いつもと違うことに気づいたら、ちょっと声をかけてみませんか。いつもと違うことに気づいたら、一緒に考えてみませんか。いつもと違うことに気づいたら、私にできることをしてみませんか。くらしの願いの実現に向け、みんなで力をあわせる活動をすすめます。

第1号議案

2024年度事業報告・ 決算関係書類承認の件

2024年度みんなが進めたこと～1年のふり返し～

事業報告書

決算関係書類（剰余金処分案含む）

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

2024年度のふり返し

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料



近江八幡市おむつおとどけ
みまもり便スタート
4月11日



- 主なニュース●
- ・円安、34年ぶりに1ドル160円台



田植え・稲刈り体験
5月・9月



サマーキャンプin鳥取
8月3日～4日



- 主なニュース●
- ・「南海トラフ地震臨時情報」初発表
- ・パリパラリンピック



第15回びわ湖清掃
ウォーク
9月28日



- 主なニュース●
- ・大谷翔平大リーグ初「50-50」
- ・能登半島豪雨
- ・令和の米騒動



大津市と包括連携協定締結
12月17日



甲賀市と包括連携協定締結
1月27日



みんなごと

『ともに作る笑顔あふれる未来』の実現に向けて、わたしたちが大切にしている3つのこと。
みんなごとをキーワードにコープしがらしさを創造していきます。

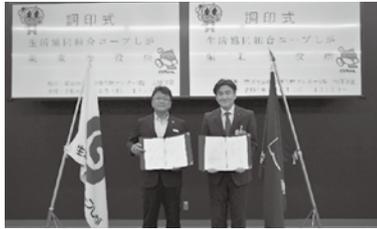
耳を傾け
向きあおう

活動へ
参加しよう

地域で
体験を活かそう



栗東市と「災害時における
応急生活物資供給等の協力
に関する協定」締結
6月5日



県内戦争遺跡めぐり
7月27日



- 主なニュース●
- ・新紙幣発行
- ・パリ五輪



高島市おむつおとどけみま
もり便スタート
10月3日



- 主なニュース●
- ・ノーベル平和賞に
被団協



商品大交流会を高島市で
開催
11月9日



宅配新システム稼働
2月



親子で防災企画
1月～3月



あいことば みんなごと

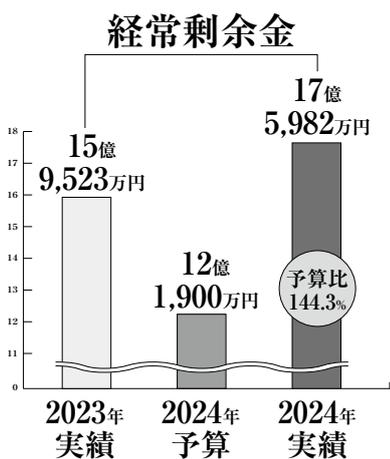
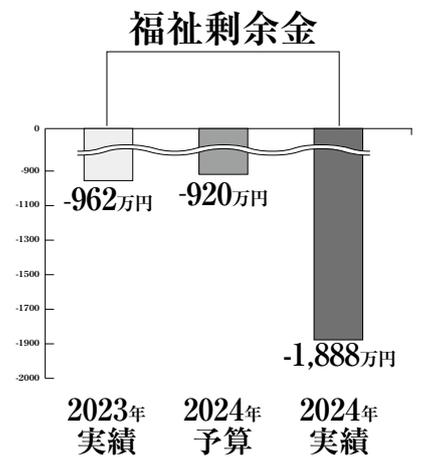
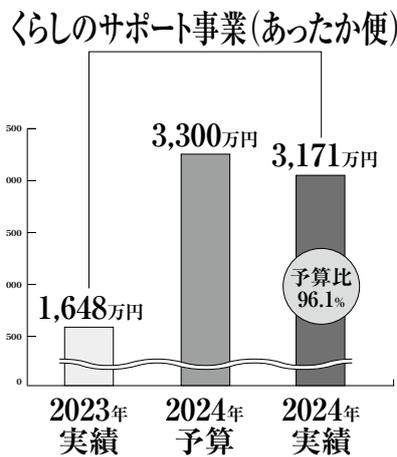
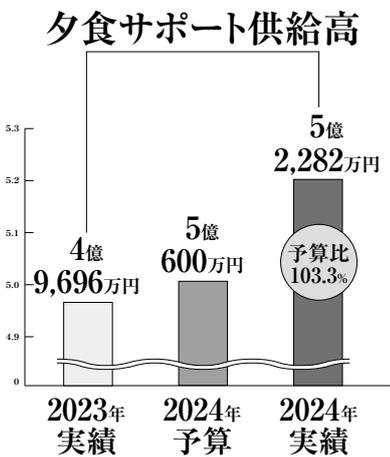
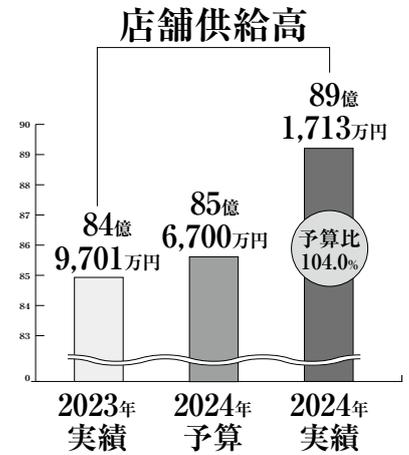
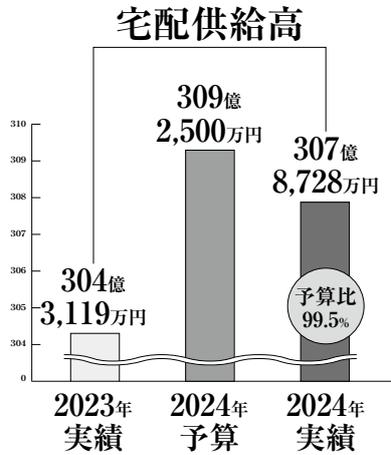
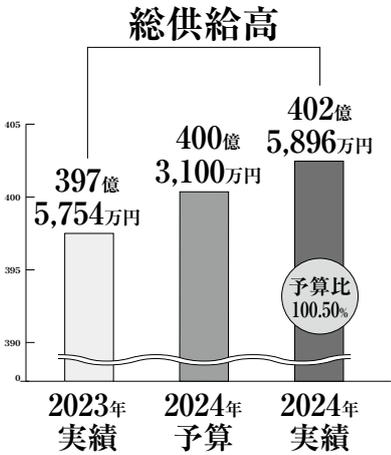
私たちは物事を、自分（じぶんごと）・他人（ひとごと）と切り分けて考えてしまいがちです。私たちは協同の精神を大切にする仲間であり、組合員、役職員、生産者や地域の人々など多くの人たちとつながっています。

こうしたことから、自分ごと・他人ごとと切り分けず、自分の経験や困りごとは相手にも共通しているものだと考え、課題はみんなで解決しよう！という思いを込めて「みんなごと」を作りました。

『みんなごと』を合言葉に起こす、コープしがの組合員・役職員の小さなアクションが、さざ波のようにスパイラルを描いて広がって、笑顔あふれる未来につながるのだと信じています。

2024年度事業と活動のふり返り

■ 2024年事業実績（2025年3月20日までの累計）



※福祉剰余金は予算・実績ともマイナスであるため、予算比は表示していません。

第1号議案

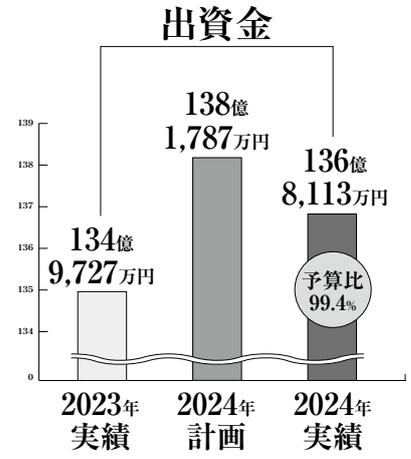
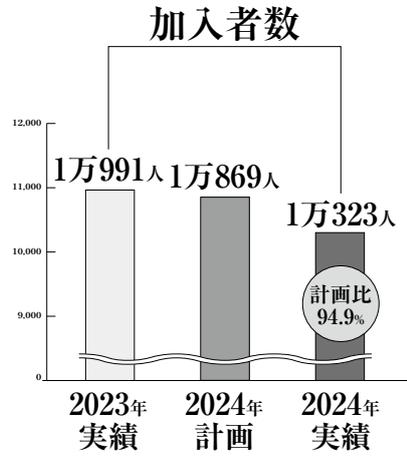
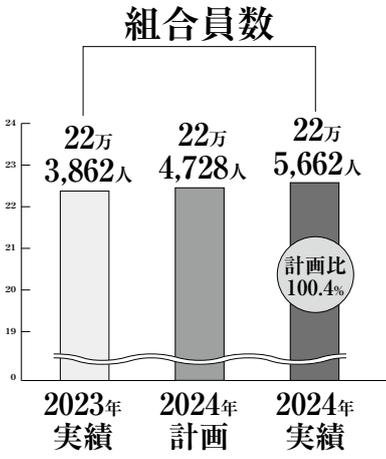
第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料



1. 『食』の大切さを考えよう!

人生100年時代といわれる現代において、“安全安心な食”はとても大事です。色あざやかな野菜や果物、新鮮な魚、お肉、牛乳…私たちの食卓を豊かに彩る食べ物の向こうに、作った人々の想いが見えます。そして、私たちの健康を保ち、心を満たす。家族や仲間の笑顔につながっていきます。

食べることは生きること。食べることは楽しいこと。“食”を真ん中において、くらしの中の実感を伝え合うことで「食の大切さ」を守りましょう。

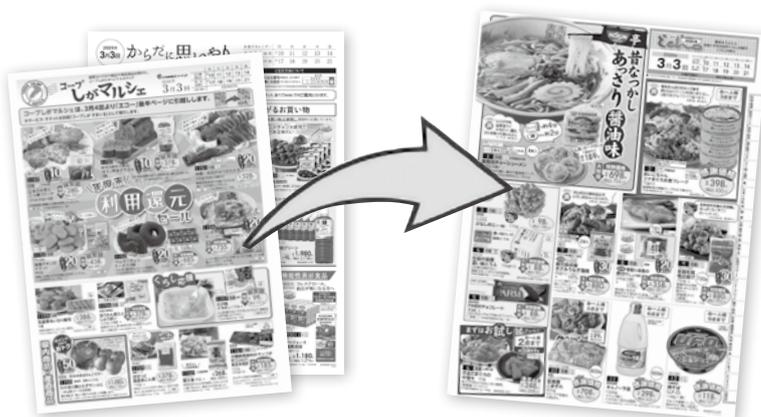
コープしがマルシェと商品案内書エコーの合冊について



組合員の声

- ・チラシが多すぎて読みきれないです。
- ・商品が多すぎて選びにくいです。

3月4回より『コープしがマルシェ』を『エコー』にまとめ、同じような商品の掲載を減らして、より見やすく選びやすい商品案内書にしました。『コープしがマルシェ』のページは、これまで以上に産直商品、県内商品、滋賀ならではの商品を掲載するようにしています。



コープしがマルシェが、エコーの中に移りました

滋賀県産の野菜や県内産商品の取り扱いについて



組合員の声

- ・滋賀の野菜セットが好きです。
- ・滋賀県産のものを利用したいです。
- ・滋賀県産の商品だけまとめてくださるとありがたいです。

滋賀県産の農産物や県内で生産される商品への要望を受けて、『エコー』の中でも、『コープしがマルシェ』のページで産直商品や滋賀の商品を中心に取り扱い、県内生産者やメーカーを応援しました。



クリスマスケーキのサイズについて



組合員の声

- ・クリスマスケーキのサイズは、大きなワンホールではなく、ショートケーキ・小さなサイズが欲しいです。

小さなサイズのクリスマスケーキが欲しいという声は毎年増えています。これまでも企画をしていましたが、複数の案内書に分かれて掲載していたため、見つけづらくなっていました。そのため、4号サイズのケーキ（コープしがマルシェ12月2回企画）やお正月準備号に掲載されているケーキもオリジナルクリスマスケーキの商品案内書と一緒に掲載することで、見つけやすくしました。



他チラシのケーキ紹介はこちら↑

ぱくぱく商品知ってね！交流フェス開催について

身近な場所で組合員と生産者が商品を中心に交流できる場として、「ぱくぱく商品知ってね！交流フェス」を9カ所のコープしが宅配事業センターで実施し、合計761名が参加しました。また、合計90の生産者・メーカーが参加し、61名の組合員が当日の協力員として参加しました。



組合員の声

- ・今まで購入したことがない商品でも、試食したり生産者さんのお話を聞かせていただくことで、購入の意欲につながります。
- ・このような場を友人・知人にもぜひ紹介したいです。



2. 『宅配がある くらし』 をもっと楽しもう！

いつでもどこからでも注文ができ、どんなところへも笑顔と商品を届けてくれる生協の宅配。「コープしがに入ってよかったわ」、「担当さんのおすすめ毎週楽しみにしているよ。ありがとう」の声がたくさん集まりました。

つながる信頼から安心がうまれる生協の宅配を楽しみましょう。

コープの宅配ご利用方法のお知らせについて



組合員の声

- ・引越をしたので、ステーションを探していたが、どこにあるのかわからなかったです。
- ・グループで利用していますが、グループの人と時間が合わなくなって、どうしたらいいか悩んでいます。



グループ購入(共同購入)

ご指定の場所まで商品をお届けします。



ステーション購入(共同購入)

地域の提携しているお店等で商品を受け取れます。



個配(個人配達)

決まった曜日にご自宅まで商品をお届けします。

「グループ購入(共同購入)」「ステーション購入(共同購入)」「個人配達」の3つの利用方法で利用されている組合員の声を聴いて、利用に関する方法やルール等を改めて、整理し案内しました。また、ホームページの地域ステーション一覧ページでは「店名」「住所」「受け取り可能曜日・時間」を公開しています。

商品をお渡しする時の配慮について



組合員の声

- ・組合員担当さんから雑貨や冷凍、冷蔵の袋の手渡しがありますが、たまごの存在が非常に気になります。
- ・商品を受け取る側も気を付けたいので、たまごが入っている場合は知らせて欲しいです。



たまごがあります。丁寧をお願いします。

分かったわ！ありがとうございます



お届け商品の中にたまごがある場合、組合員担当のスマートフォンに「たまごあり」と表示するようにしました。商品を手渡しする時に、「たまごが入っているので、気を付けてくださいね」と一声掛けています。

配達手数料の名称変更について



組合員の声

- ・システム使用料と利用手数料の違いがわかりにくいです。

配達手数料の内訳について、何に対しての手数料なのか、言葉の意味がわかりにくかったので、2024年7月から名称を変更しました。

基本料*	利用料*(変動)	配達手数料
66円(税込73円) 商品配達が無い場合でも必要となります。	商品購入なし 0円 4,000円未満 160円(税込176円) 8,000円未満 140円(税込154円) 12,000円未満 110円(税込121円) 12,000円以上 90円(税込99円)	66円(税込73円) 226円(税込249円) 206円(税込227円) 176円(税込194円) 156円(税込172円)

*表記方法の変更—システム使用料—基本料、利用手数料—利用料
(2024年7月より個配の手数料名称をわかりやすく変更しました。)

手数料についてくわしくはこちら！

配達手数料の内訳

基本料…商品のお届けの有無に関わらず、毎週個別に何うことに対して、個配を利用している全員に基本料を負担していただく料金です。

利用料…商品のご利用額に応じて負担していただく料金です。商品のご利用が無い場合は発生しません。

チケットの抽選で落選した場合の連絡について



組合員の声

- ・注文したチケットが抽選で落選した場合、ハガキ連絡だけではハガキが紛れたり、届かなかったりして困ります。
- ・ハガキ以外の方法でも抽選結果を案内して欲しいです。



2024年10月より、申し込みチケットの当落確認は、組合員自身で、コープしがホームページ「サービス事業チケット」ページで確認できるようになりました。チケットを注文した翌週の水曜日以降、抽選結果を調べることができます。

フードロス削減、ドライアイス削減について

2023年10月から注文間違いや数量間違いなど組合員都合による返品を受付をしないこととしました。食品の廃棄はコープしがの事業への影響も大きく、みんなでつくっている協同組合の財産を減らすことにもなります。できるだけ廃棄をなくし、持続可能な事業をみんなで進めていきましょう。

冷凍商品の配送に使用するドライアイスの確保が厳しくなってきたため、持続可能な宅配事業をめざし、繰り返し使用できる冷凍保冷剤を活用した配送を2024年10月からすべての宅配事業センターでスタートしました。また、配送に使用するこれらの備品は組合員みなさんの財産ですので、長く使えるように丁寧な取り扱いをみんなで進めていきましょう。



組合員の声

- ・返品について、このお知らせはとてもいいと思います。なぜ今までなかったのかと思うほどです。
- ・他の国では、十分に食べられない子どもたちもたくさんいます。



夕食サポートの広がりについて

夕食サポートは、組合員相互のくらしのたすけあい運動として事業が始まり14年が経過しました。現在、(株)初穂とコープしが子会社の(株)コープシステムサービス大中フードセンターの2社体制でお弁当を製造しています。利用者、食数も順調に広がり、現在は1日約3,300食をお届けしています。また、夕食サポートニュース「つながり」では、川柳を通じた組合員同士のつながりが広がりました。



組合員の声

- ・高齢の方々のたくさんの投稿に勇気づけられます。
- ・配達してくださる方もちゃんと声かけして下さるし、元気になります。本当にご苦労様です。
- ・「おいしいね 家族のえがお 宅食事」
- ・「宅配や 食べてさわやか 旬の味」



3. 『お店がある くらし』 をもっと楽しもう！

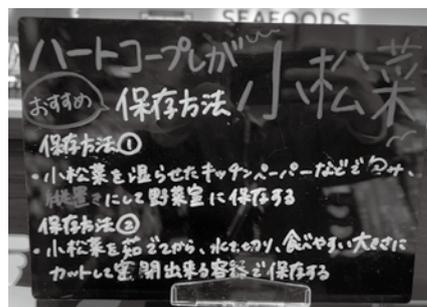
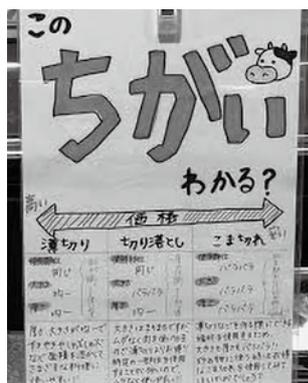
私もあなたも誰にでも「おいしさ、楽しさ、あったかさ」を実感できるコープのお店。

「これおいしかったわ」、「これ便利」、「ここでしか買えないものがあるわ」という声がゆきかう私たちのお店。「お買い物サポートカーやお届け便（買い物代行、お買い上げ配達）があって助かるわ」の声もいっぱい届いています。

楽しい、また来たいと思えるお店にみんなで行きましょう。

組合員の「買い場」について

生協は、組合員がくらしをよくするために作った、買うための組織であるとの考えに立ち返り、買い手の立場に立った視点で買い場づくりをすすめました。



職員の声

- ・職員は手作りのコトPOPを使って、商品の背景や詳しい商品情報を案内し、手に取りやすく試してみたいくなるような工夫をしました。

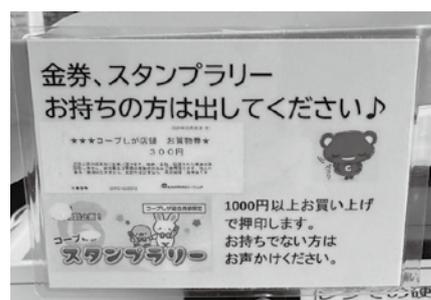
「ポイントプレゼント券」のレジでのご案内について



組合員の声

- ・ポイントプレゼント券をいつも忘れてしまいます。レジで案内をしてもらえると嬉しいのですが…

せっかく貯めたポイントプレゼント券を精算時に渡し忘れてしまうとの声を受けて、レジ担当者からの声掛けや表示、店内放送を通じてお知らせし、お得に利用してもらえるようにしました。



安心して利用できるお店の施設・設備について



組合員の声

- ・ コープもりやま店の駐車場で夜間や土砂降りの時に白線が薄く見えにくく感じる時があります。
- ・ 店舗のすぐ前が駐車場になっていて便利なのですが、高齢者や障がいをお持ちの方々には駐車場からお店に入るまでに椅子があると休むことができるので便利だと思います。

店舗の駐車場が安全に利用できるように、コープもりやま店とコープぜぜ店の駐車場の白線を引き直しました。他店舗でも施設や設備に不具合がないか点検をおこないました。

また、「コープのお店は安心して利用することができる」と感じてもらえるよう、店舗内外に椅子の設置や買い物時でも座れるカートの導入をしました。



コープぜぜ店駐車場



移動店舗を通じた暮らしへのお役立ちについて

利用者一人ひとりの要望やリクエストに応えることができるように普段の声かけやアンケート結果から生鮮部門を中心に積載商品の見直しを進め、野菜や果物、鮮魚の切り身などの種類を増やしました。また、コープ商品や産直商品など毎月おすすめ商品を設定し、日々の対話を通じて利用が広がるよう取り組みました。



組合員の声

- ・ 買いたいものがいつもあるのでたすかります。
- ・ 職員さんのおすすめで購入した生協牛乳がとてもおいしかったのでこれからも利用したいです。
- ・ 小松菜はシャキシャキして鮮度がいいのでうれしいです。



4. 暮らしの備えと『おたがいさま』を考えよう!

予測できない自然災害や病気・ケガ。新型コロナウイルスの流行で“あたりまえ”があたりまえでなくなる経験もしました。ふだんの暮らしの保障の備えやローリングストックなどの重要性が改めて見直されています。困った時こそお互いを想う気持ちも大切です。暮らしの困りごとを気軽に話せて解決できるつながりづくりとして、ささえあいサポートが地域ですんでいます。

「うばい合えば足らぬ、わけ合えばあまる（相田みつを）」協同の精神“分かち合い”を胸に、よりよい暮らしづくりを考えていきましょう。

共済事業と大学生協との連携について

滋賀県の大学生協とコープ共済連と連携しながらCO・OP学生総合共済を広く進めていくための協議を重ねました。また、卒業後、社会人生活のスタートに活用できるよう、コープしがの事業やサービスに関するお知らせを卒業生へ配布しました。

CO・OP学生総合共済の内容

病気、ケガの保障だけでなく、学業復帰支援臨時費用、こころの早期対応保障、ストーカー被害見舞金といった学生ならではの保障内容となっており、卒業後は新社会人コースへ継続し30歳まで保障を続けることができます。

組合員の声

- ・令和時代の学生ならではの保障内容にとっても満足しています。



介護への備えや不安解消の取り組みについて

介護が必要になった時、「どこに相談すればよいかわからない」や、「どのような備えが必要かわからない」といった声に対して、コープもりやま店などで介護相談会を開催しました。2024年度は、ブースに立ち寄られた方から、26件の相談を受け付けました。

相談者の声

- ・そろそろ介護について考えなければならぬと思っていましたが、まだいいかという思いもあり行動できていませんでした。介護が必要になった際の相談窓口や流れが知れて良かったです。
- ・知り合いに介護が必要な方がいます。何も支えになってあげられていなかったのですが、説明会で教えてもらったことを教えてあげます。
- ・相談ではないのですが、家族の介護をしており悩み疲れています。悩みを聞いていただいたことで気持ちが楽になりました。ありがとうございます。



介護が必要となった時に安心して頼っていただくために

介護が必要になった時、利用者自身の「できる力」を奪うことなく自立につなげる「生協10の基本ケア」を軸にしたケアを行うことで、利用者が増えています。また、介護保険制度の改定に伴い、訪問介護事業を断念される法人が増える中、引き続き訪問介護サービスが必要なご利用者の受け入れも行っています。こうした既存事業所での積極的なご利用者の受け入れと併せ、より多くの介護を必要とされる方に頼っていただくため、新たな事業所開設に向け介護職員の拡充を進めています。

組合員の声

- ・私のくらしている地域でもコープしがの介護事業が利用できたらいいと願っています。

利用者、他法人からの声

- ・訪問してもらえるのが楽しみになっています。丁寧にケアしてもらえるだけでなく、ヘルパーさんのマスク越しでもわかる笑顔から元気を貰えています。
- ・訪問ヘルパーさんから、ご利用者のご様子を事細かく連絡いただけるだけでなく、ご利用者の生活環境をより良くするための提案もいただけ、ケアマネとして助かっていますし、安心してお任せできています。



震災を忘れないスタディツアーinふくしまの取り組みについて

①知ること、②知らせること、③つながること、④応援することを目的に、震災を風化させない取り組みとして、震災を忘れないスタディツアーinふくしまを2024年10月26日～27日に開催し、組合員24名が参加しました。参加者は、自分の目や耳で被災地の現状を学ぶとともに、現地の人々や生産物をはじめとした福島県の魅力に触れる場となりました。

組合員の声

- ・新しい家や建物が建築され、もう復興したんだと思ったが、やはり人が帰っていない所は当時のまま荒れていました。この現状を伝えなければと思いました。
- ・昔からの防災の言い伝えを継続していく事が大切であると痛感しました。



5. 暮らしをよくし、誰かの『笑顔につながるコト』をはじめよう!

人は一人で生きられません。暮らしを豊かにするために、住みよい地域を築くために、ともにささえあいながら生きています。人のかかわりを制限されたことにより、あらためて気づかされた人とのつながりの温かさや大切さ。一人でできるコト、だれかと一緒にできるコト…。

私がワクワクできて誰かの笑顔につながるコトの一步を踏み出しましょう。

コープの森3号地「コープの森 多賀」について

コープしがは、琵琶湖の水源を守り、CO₂を吸収する貴重な森林資源を育て、守っていくために「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を活用して、2024年10月1日より新たに多賀町の大滝山林組合と協定を締結し、コープの森3号地「コープの森 多賀」を開設しました。森林を守るだけでなく、組合員や役職員が自然に触れて環境について学ぶことができる活動を続けていきます。

組合員の声

- ・コープの森多賀に興味があります。森林整備で発生する間伐材の処理には費用がかかり放置されることも多く、その有効活用ができれば環境保全に貢献ができます。また、子ども達に森にふれる機会、滋賀県でしかない経験をさせてあげたいです。

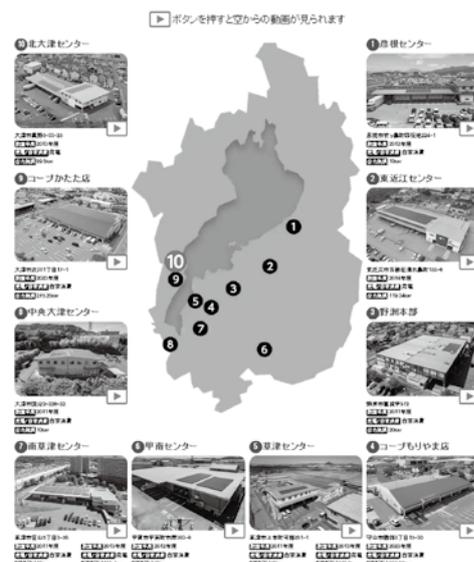


環境への取り組みを紹介したホームページ作成について

コープしが環境政策に基づき取り組んだことをホームページにまとめました。情報を一つにまとめることで、「わたしたちのコープしががどのように環境課題に取り組んでいるのか」を簡単に知ることができ、コープしがの環境への取り組みが分かるようにしました。これからは、具体的なデータや実績の情報を発信して、「環境への貢献度」を実感できるように進めます。

組合員の声

- ・リサイクルの出し方などの情報が一覧になっているチラシが入っていました。環境への取り組みを発信してほしいと声を出したのが形になってうれしいです。
- ・たくさんの組合員が知ることができるように情報を発信してほしいです。

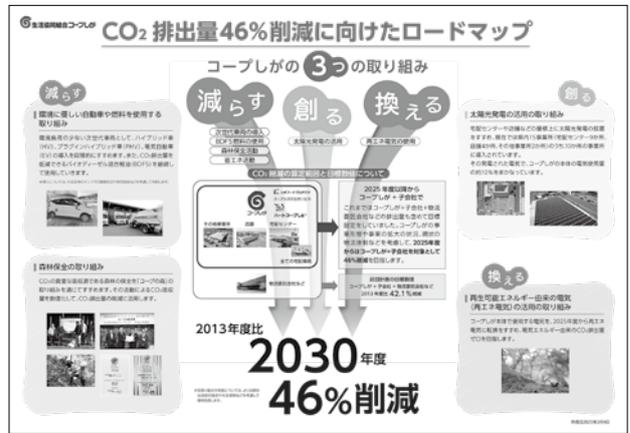


CO₂排出量46%削減に向けた新たなロードマップについて

コープしがでは、2022年に策定した「環境政策に基づくCO₂削減に向けた2030年までの実施計画」で確認した取り組みを進めてきました。これまでの取り組みの実績も踏まえて、CO₂排出量の削減計画を見直しました。コープしがではCO₂排出量を2030年に46%（2013年度比）の削減を目標にして取り組みを進めています。

組合員の声

- 夏場の異常な気温や頻繁に発生する異常気象など、私たちの生活がおびやかされています。CO₂を出し続けている世の中なので、深刻に考えていかないといいと思います。



「考えてやってみよう！5つのたいせつ」活動について

「いろいろな会場に行って参加できる生協のイベントもいいけれど、もっと身近に、自由な時間で「5つのたいせつ」の活動ができればいいな」との組合員の声を受け、「考えてやってみよう！5つのたいせつ」活動を開始しました。

個人や家族、友だちと活動をし、取り組み内容をホームページに投稿すると、取り組みが多くの人に共有できるとともに、1投稿につき100円が「滋賀応援寄附」に寄付されます。

びわこ*たいせつの投稿

- 歩いて通勤途中でのゴミ拾いをしました。誰かが、拾っているのを見て捨てないようにしようと思ってくれたらいいなと思います。



第15回びわ湖清掃ウォークの取り組みについて

第15回びわ湖清掃ウォークを守山市で開催し、450名の組合員と役職員が参加して、ピエリ守山～第2なぎさ公園のびわ湖岸を清掃しながらウォーキングしました。

組合員の声

- 子どもが学校の行き帰りでゴミ拾いすることがあって興味があるようなので、参加しました。びわ湖の清掃は初めてです。子どもと一緒にいい体験になりました。



6. 『ありがとう!』 でつながる私たち!

私たちの日々の暮らしには生協とかかわる中でうまれる“ありがとう”がたくさんあります。組合員や職員も、自分や暮らしを守ることへの感謝の気持ちがあふれます。

お店でも週に一度の宅配でも、生協でつながっていることの喜びを実感し広げていきましょう。

そして、私たちの子どもや孫やもっと先の世代にも、安全と安心をつないでいける笑顔あふれるコープしがにしていきましょう。

被災地への職員派遣について

2024年1月の能登半島地震の発生直後から、被災地支援のために、全国の生協が日本生協連を通じて現地に職員を派遣しています。コープしがからも、2024年度は合計5名の職員が現地に入り、被災地生協の宅配業務の配達や、現地の災害ボランティアセンターの運営サポートを行いました。

9月には豪雨被害もあり、息の長い支援が求められています。今後も被災地に寄り添った活動を続けます。



参加職員の声

・8/22～8/26に復興支援に行ってきました。現地で担当した事は、穴水町のボランティアセンターにてボランティアに来てくださった方と、ボランティアを必要としている方を結ぶ役割でした。毎日仕事がある中で遠方から毎週末通っているという方や、いろんな被災地に支援のために飛び回っているという方もおられ、本当にすごいと感銘を受けました。また、今回の活動を通じて全国の生協のつながりを再認識し、とてもいい組織にいることを実感しました。今後災害が発生した際にも自ら進んで復興支援の活動に参加していこうと思います。



認知症に対する不安解消のための取り組みについて

組合員・役職員を対象に認知症への理解を深め、何か行動できるようになるために認知症学習会（認知症サポーター養成講座）を実施しました。また、広報誌スパイラル10月号では「社会で見守りたい認知症」として認知症の人への接し方や相談先などに関する情報発信を行いました。

組合員の声

・父親が認知症で、今とっても大変なんです。すっごく暴言もあり接し方や受け止め方がとっても難しく悩んでいます。これからも学習や相談できる機会がもっとあれば良いと思います。

職員の声

・ご来店いただく方の中にも認知症の方がおられ、対応に困る場面がありました。研修で学んだことを実践し、安心していただける対応を行っています。

認知症の人と家族の会より

・スパイラルを見た組合員からご相談があり、心の負担が和らいだと喜んでいただけました。



くらしの中での困りごとを解決するささえあいサポートについて

組合員のくらしの困りごとに対して、組合員のできることでたすけあう「ささえあいサポート」の利用が増えています。サポーターと利用者、コーディネーターが顔の見える関係となり、安心して利用や活動ができるよう、サポーターやコーディネーターの話し合いの機会が増えました。

利用者の声

・高齢になり、今までできていたことが困難になってきました。困った時にすぐに相談できることや、組合員が助けてくださることで、安心して利用できています。

サポーターの声

・食事作りのサポートに月1回入っています。そこの2歳のお子さんがニコッと笑いながら「〇〇さん」と呼んでくれるようになり、うれしくなります。



ささえあいサポート活動

利用件数…………… 3,617件
(前年度3,089件)

サポーター組合員数… 1,720人
(前年度1,926人)

2024年度 ささえあい サポート トップ4	依頼内容	合計(件)
	家事援助(掃除・片付け含む)	2,113
	庭木・草取り・水やり	447
	子ども見守り	206
	高齢者支援	116

(株)コープシステムサービス 大中フードセンターの稼働について

宅配弁当(夕食サポートつながり)の製造、宅配事業で不足するドライアイスのため、冷凍保冷剤の凍結といった事業を通じて、組合員に生協の商品を安定的に提供することをめざし、コープしが子会社(株)コープシステムサービス 大中フードセンターが2024年8月に稼働しました。



●「所在不明組合員の整理に関する規約」に基づく自由脱退処理について

定款第10条第2項及び「所在不明組合員の整理に関する規約」に基づき、2023年3月20日以前から所在不明になっている464名(出資金総額1,925,468円預かり金含む)について2025年3月20日付で自由脱退処理を行いました。

●適切な会計監査の実施について

公認会計士「有限責任監査法人トーマツ」による監査を実施します。

●2024年度情報公開について

情報公開に関する申請及び再申請はありませんでした。

決算関係書類

貸借対照表

生活協同組合コープしが

(2025年3月20日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	23,429,640	流動負債	7,367,347
現金預金	18,624,418	買掛金	4,432,457
供給未収金	3,804,148	未払金	1,270,805
有価証券	100,314	未払法人税等	319,336
商品	272,781	未払消費税等	61,986
貯蔵品	16,655	預り消費税等	50,013
立替金	11,258	未払費用	378,420
前払費用	10,877	契約負債	81,304
未収金	622,574	前受金	80,873
前払金	1,666	預り金	369,670
短期貸付金	10,144	出資預り金	66,301
貸倒引当金	△ 45,200	役員預り金	56,192
固定資産	13,646,719	賞与引当金	199,985
有形固定資産	7,383,560	固定負債	1,786,081
建物	3,792,353	退職給付引当金	1,608,336
減価償却累計額	△ 2,215,741	長期未払金	6,138
建物附属設備	1,716,567	預り保証金	88,673
減価償却累計額	△ 1,315,272	資産除去債務	82,933
構築物	649,561	負債合計	9,153,429
減価償却累計額	△ 518,756		
機械装置	411,684	(純資産の部)	
減価償却累計額	△ 269,740	組合員資本	27,922,930
車輜運搬具	4,061	出資金	13,681,134
減価償却累計額	△ 4,061	剰余金	14,241,796
器具備品	817,995	法定準備金	6,675,000
減価償却累計額	△ 721,017	任意積立金	5,357,565
土地	5,035,926	システム整備積立金	1,252,779
無形固定資産	174,608	環境事業積立金	1,051,502
電話加入権	358	店舗開設積立金	987,396
施設利用権	2,072	リスク対応準備金	1,000,000
借地権	23,759	減損評価準備金	737,467
ソフトウェア	148,418	福祉積立金	234,420
ソフトウェア仮勘定	-	産直・県内農産基金	48,152
その他固定資産	6,088,549	事業所内保育特別償却準備金	17,934
関係団体等出資金等	554,420	災害支援基金	16,546
関係団体出資金	477,420	太陽光発電国庫補助金積立金	11,366
子会社等株式	77,000	当期末処分剰余金	2,209,230
長期前払費用	4,968	(うち当期剰余金)	(1,471,663)
差入保証金	385,628	純資産合計	27,922,930
施設負担金	600	負債・純資産合計	37,076,359
長期保有有価証券	854,208		
長期預金	3,400,000		
長期貸付金	49,217		
繰延税金資産	839,506		
資産合計	37,076,359		

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

【 参 考 】 貸 借 対 照 表 の 勘 定 科 目 解 説

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
流動資産		流動負債	
現 金 預 金	事業所の小口現金と銀行の預貯金	買 掛 金	仕入取引に基づいて発生し、支払期日の到来していない金額
供 給 未 収 金	商品やサービスを利用した組合員の商品代金のうち、支払期日が到来していない金額	未 払 金	物件費等の取引に基づいて発生し、支払期日の到来していない金額
有 価 証 券	国債、社債等で満期が1年以内の金額	未 払 法 人 税 等	当年度納税予定の法人税・事業税・県民税・市町村税の未払額
商 品	供給目的で仕入れた物品のうち、まだ供給していない在庫の金額	未 払 消 費 税 等	当年度納税予定の消費税・地方消費税の未払額
貯 蔵 品	事業に供する備品類のうち、未使用となっている在庫の金額	預 り 消 費 税 等	組合員への利用分量割戻時に返還する消費税・地方消費税の未払額
立 替 金	一時的に生じる立て替えている金額	未 払 費 用	継続的な役務の提供である職員の給与や社会保険料等の未払額
前 払 費 用	契約に基づき継続的に役務の提供をうける場合、未提供の役務に対して支払った対価のこと	契 約 負 債	当期末において将来利用されると見込まれるポイントの金額
前 払 金	債権の購入に際し、購入前に発生していた利息分を前払いした金額	前 受 金	電子マネーチャージ金の残高
未 収 金	取引先との通常の事業取引に基づいて発生した未収となっている金額	預 り 金	自由脱退組合員の出資金など
短 期 貸 付 金	回収期限が1年以内に到来する貸付金額	出 資 預 り 金	出資金の1口である千円に満たない金額
貸 倒 引 当 金	供給未収金等の金銭債権の回収不能に備えて予め引き当てている金額	役 職 員 預 り 金	役職員の源泉所得税・住民税・社会保険料等の給与と引き分など
固定資産		賞 与 引 当 金	職員に対する賞与支給に備えた積立額
有形固定資産		固定負債	
建 物	所有している建物 (宅配事業センター・店舗・本部など)	退 職 給 付 引 当 金	職員に対する退職金支給に備えた引当金
建 物 附 属 設 備	建物に固着したもので、その建物の使用価値を増加させるものや維持・管理に必要なもの(空調設備など)	長 期 未 払 金	役員の退職慰労金規定廃止までの役員退職慰労金の未払額
構 築 物	土地の上に固着した建物以外の建造物や工作物 (塀・看板・アスファルト舗装など)	預 り 保 証 金	テナントなどから預かった取引保証金、敷金、保証金など
機 械 装 置	所有している機械装置やそれに付属する設備 (太陽光発電パネルなど)	資 産 除 去 債 務	賃貸借資産の契約満了などによる撤収時の原状回復費用の見積もり額
車 輛 運 搬 具	所有する車輛及び車輛に常時搭載する機器	純資産の部	
器 具 備 品	所有する耐用年数1年以上20万円以上の器具及び備品 (店舗のショーケースなど)	組合員資本	
土 地	所有している土地	出 資 金	組合員の出資金額
減 価 償 却 累 計 額	有形減価償却資産(建物及びその附属設備、構築物、機械装置、車両運搬具、器具備品)の減価償却費の累計額	剰 余 金	
無形固定資産		法 定 準 備 金	生協法および定款に定められた準備金
電 話 加 入 権	電話番号を取得する際に要した費用	任 意 積 立 金	定款や総代会の議決によって積み立てた金額のうち、法定準備金以外の積立金
施 設 利 用 権	水道設備の設置や電話通信設備に要する費用	シ ス テ ム 整 備 積 立 金	将来のシステム整備に備えて積み立てた金額
借 地 権	他人の所有する土地を利用するための賃借権の金額	環 境 事 業 積 立 金	将来の環境事業展開に備えて積み立てた金額
ソ フ ト ウ ェ ア	コンピューターソフトウェアの償却後残高	店 舗 開 設 積 立 金	将来の店舗開設に備えて積み立てた金額
その他固定資産		リ ス ク 対 応 準 備 金	大規模地震や台風、集中豪雨など自然災害による施設の損壊やその他のリスクに備えて積み立てた金額
関係団体等出資金等		減 損 評 価 準 備 金	将来の減損損失が見込まれる可能性を考慮しての費用に備えて積み立てた金額
関係団体出資金	日本生協連やコープきんきなどの関係団体への出資金額	福 祉 積 立 金	将来の福祉全般に関わる取り組みに備えて積み立てた金額
子会社等株式	子会社・関連会社への出資金額	産 直 ・ 県 内 農 産 基 金	産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持し発展させるために積み立てた金額
長期前払費用	前払い費用のうち、1年を超える期間を経て費用となる金額	事 業 所 内 保 育 特 別 償 却 準 備 金	事業所内保育の整備費の会計と税務との処理が異なることに対応するための金額
差入保証金	不動産賃貸借の場合の敷金・保証金、取引を行う場合の取引保証金、供託金	災 害 支 援 基 金	将来の災害支援に備える資金としての積み立てた金額
施設負担金	生協の必要に基づいて公道の舗装を行った費用	太 陽 光 発 電 特 別 償 却 準 備 金	太陽光発電の特別償却に備えて積み立てた金額
長期保有有価証券	国債、社債等で満期が1年を超える有価証券の金額	当 期 未 処 分 剰 余 金	当期分として総代会にて処分対象となる剰余金額の合計
長期預金	定期預金等で満期が1年を超える金額	(うち当期剰余金)	当年度の剰余金
長期貸付金	回収期限が1年を超えて到来する貸付金額		
繰延税金資産	将来に支払うべき税金の前払い分		
資 産 合 計	資産の合計金額	純 資 産 合 計	純資産の合計金額
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	負債と純資産の合計金額

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

損 益 計 算 書

(自2024年3月21日 至2025年3月20日)

(単位：千円)

I. 供給事業

1. 供給高		40,258,961
2. 供給原価		
(1) 期首商品棚卸高	294,552	
(2) 仕入高	29,748,743	
合計	30,043,295	
(3) 期末商品棚卸高	268,921	
供給剰余金		10,484,586

II. 福祉事業

1. 福祉事業収入		62,991
2. 福祉事業費用		81,879
福祉剰余金		△ 18,888

III. その他事業収入

1. 教育文化事業収入	8,969	
2. 配達手数料収入	542,530	
3. 共済受託収入	345,170	
4. 不動産賃貸収入	97,761	
5. リサイクル事業収入	51,014	
6. サービス事業収入	41,630	
7. チケット手数料収入	7,827	
8. エネルギー取次収入	59,648	
9. その他受取手数料	41,196	
事業総剰余金		11,661,447

IV. 事業経費

1. 人件費	4,169,391	
2. 物件費	6,024,788	
事業剰余金		1,467,267

V. 事業外収益

1. 受取利息	24,185	
2. 受取配当金	5,092	
3. 雑収入	347,065	
		376,343

VI. 事業外費用

1. 雑損失	83,786	
経常剰余金		1,759,824

VII. 特別利益

1. 未払割戻金等戻入益	1,989	1,989
--------------	-------	-------

VIII. 特別損失

1. 固定資産除却損	6,068	
2. 関係団体出資金評価損	19,999	
		26,068

税引前当期剰余金

法人税等	324,363	
法人税等調整額	△ 60,282	
当期剰余金		1,471,663

当期首繰越剰余金

当期首繰越剰余金		419,962
システム整備積立金取崩額		256,589
減損評価準備金取崩額		19,999
福祉積立金取崩額		14,602
環境事業積立金取崩額		10,565
30周年記念事業準備金取崩額		9,000
災害支援基金取崩額		3,453
産直・県内農産基金取崩額		3,394

当期末処分剰余金

2,209,230

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

【 参 考 】 損 益 計 算 書 の 用 語 解 説

I. 供給事業	
1. 供給高	当期に組合員に提供した商品・サービスの総額
2. 供給原価	組合員に供給した商品の原価
(1) 期首商品棚卸高	2024年3月21日期首での商品在庫の額
(2) 仕入高	当期期間中の商品仕入れ額
(3) 期末商品棚卸高	2025年3月20日期末での商品在庫の額
供給剰余金	供給高から供給原価を差し引いた金額
II. 福祉事業	
1. 福祉事業収入	介護保険事業にかかる収入の額
2. 福祉事業費用	介護保険事業にかかる費用の額
福祉剰余金	介護保険事業にかかる剰余金の額
III. その他事業収入	
1. 教育文化事業収入	教育文化事業にかかる収入の額
2. 配達手数料収入	配達にかかる手数料の収入額
3. 共済受託収入	受託共済事業の手数料の収入額
4. 不動産賃貸収入	店舗事業等におけるテナントからの賃貸収入額
5. リサイクル事業収入	リサイクル回収物売却による収入額
6. サービス事業収入	サービス斡旋手数料、広告宣伝等の収入額
7. チケット手数料収入	チケットの斡旋手数料の収入額
8. エネルギー取次収入	コープでんき取次手数料の収入額
9. その他の受取手数料	各種保険等その他の手数料の収入額
事業総剰余金	供給剰余金と福祉剰余金及びその他事業収入の合計
IV. 事業経費	
1. 人件費	役職員に関連する人件費
2. 物件費	通常の事業活動にかかる費用の人件費以外のもの
事業剰余金	事業総剰余金から事業経費を差し引いた額
V. 事業外収益	
1. 受取利息	預金利息・債券利息
2. 受取配当金	関係団体や子会社からの出資配当
3. 雑収入	通常の事業活動以外から得られる収入額
VI. 事業外費用	
1. 雑損失	通常の事業活動以外から支出される額
経常剰余金	事業剰余金と事業外損益の合計
VII. 特別利益	
1. 未払割戻金等戻入益	利用割戻金や配当金の見積もり額と確定額との差額
VIII. 特別損失	
1. 固定資産除却損	固定資産の除却による損失と除却にかかる費用
2. 関係団体出資金評価損	関係団体出資金の実質価額の低下により簿価を切り下げた額
税引前当期剰余金	法人税等を控除する前の当期剰余金
法人税等	法人税、県民税、市町村民税など
法人税等調整額	税効果会計における法人税等の調整額
当期剰余金	当期の剰余金
当期首繰越剰余金	前年度から繰り越した剰余金
目的積立金取崩額	目的積立金の目的取り崩し額
当期末処分剰余金	総代会での議決を経る前の剰余金

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

【参考】任意積立金取り崩しと剰余金処分案の考え方について

I. 任意積立金の考え方について

1. 任意積立金の取り崩し内容

目的積立金の中から、当年度使用したシステム整備積立金、減損評価準備金、福祉積立金、環境事業積立金、30周年記念事業準備金、災害支援基金、産直・県内農産基金を取り崩します。各積立金の取り崩し内容については以下の通りです。

(1) システム整備積立金

事業を支えるシステム開発や改修に備えるための積立金です。その目的用途による使用額として新共同システム稼働による費用や店舗システム費用を取り崩します。

(2) 減損評価準備金取崩額

減損損失が見込まれる可能性に対して備えた積立金です。今年度は株式会社コープシステムサービスの株式評価損の計上を行ったために取り崩します。

(3) 福祉積立金

福祉政策に基づき、福祉積立金の有効活用の具体化として、「できるコトづくり制度」の使用額やささえあいサポートの運営補助分、移動店舗車両費用、笑顔はぐくみサポート費用等を取り崩します。

(4) 環境事業積立金

環境事業にかかる費用として太陽光パネルの減価償却費用、コープの森を保全するための抛出金電気自動車の車両費用等その目的用途による使用額を取り崩します。

(5) 30周年記念事業準備金

コープしが設立30周年記念として記念事業や取り組みに備えた積立金です。その目的用途により全額を取り崩します。

(6) 災害支援基金

長期的かつ継続した支援が必要な東日本大震災の被災地支援や、今後想定される災害に備えての積立金です。その目的用途による使用額を取り崩します。

(7) 産直・県内農産基金

産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持しさらに発展させるための積立金です。その目的用途による使用額を取り崩します。

2. 任意積立金取崩額（目的使用による取り崩し）内訳

(単位：千円)

1. システム整備積立金	合計	256,589
1) 新共同システム費用等		114,489
2) 店舗システム利用料		19,830
3) 勤怠・会計システム固定資産		122,269
2. 減損評価準備金	合計	19,999
1) 株式会社コープシステムサービス 株式		19,999
3. 福祉積立金		14,602
1) できるコトづくり助成金費用		6,953
2) ささえあいサポート運営補助費用		4,636
3) 移動店舗車両費用リース費用		1,745
4) 笑顔はぐくみサポート費用		1,248
5) 自治ステーション運営補助金		18

4. 環境事業積立金	合計	10,565
1) 太陽光発電システム（売電型設備除く）減価償却費		8,219
2) コープの森を保全するための拠出金・ボランティア活動費用等		1,705
3) 本部電気自動車充電設備設置費用・電気自動車リース費用		640
5. 30周年記念事業準備金	合計	9,000
1) 30周年記念誌編纂費用		9,000
6. 災害支援基金	合計	3,453
1) 震災を風化させないスタディツアー 開催費用		2,840
2) 岩手県大船渡市山林火災支援募金		300
3) 石川県震災支援活動費		203
4) 大中の湖産直連合会への災害募金		100
5) 防災総合訓練に係る費用		9
7. 産直・県内農産基金	合計	3,394
1) 商品大交流会および知ってね交流フェス関連費用		3,087
2) 産地研修費用や地産地消推進学習会		306

II. 2024年度剰余金処分案の考え方について

1. 基本的な考え方

法令に基づく資金の積み増しや組合員への利用還元を考慮しつつ、生協の経営の安定性と持続性を確保するために、「将来に向けた事業経営に必要な資金の充実を図る」ことを第一とすることを継続します。厳しさを増す今後の経済状況の中にあっても、持続的に組合員が共有できるサービスの向上や、事業を通じて組合員のくらしに役立つ経営基盤をつくるための資金を積み立てます。

2. 剰余金処分の内容

剰余金処分は内部留保（積立金等）と組合員への還元で大別されます。内部留保には、法定準備金、任意積立金、次期繰越剰余金があります。組合員の還元には利用分量割戻金と出資配当金があります。

3. 積立資金の状況

2024年度末コープしがの自己資本比率は、75.3%と財務の安全性、健全性は十分に確保しています。また、剰余金比率は38.4%となっており、自己資本に占める剰余金の割合は50.0%となっています。出資金約136.8億円に対する法定準備金は66.7億円と出資金の保全率は48.7%となっています。

4. 積立金の使途

組合員のくらしへの持続的な貢献、安定した事業継続の実現のためには、さらなる経営努力と事業構造や仕事改革が必要です。組合員へのサービス改善や向上、宅配や店舗事業をさらに展開するためのシステム開発・改修や情報システムの保全、また、環境政策及び中期計画に基づく施策の実現等、これらのための投資として多額の資金を必要とします。この資金の調達にあたって、組合員出資金と共に単年度収支の中では賄いきれない場合に備えて、毎期の当期剰余金の中から目的を明確化した任意積立金を継続的に積み立てていきます。

5. 2024年度剰余金処分案の詳細について

(1) 任意積立金取崩額

事業所内保育特別償却準備金取崩額

2018年度に取得したコープもりのこ保育園の整備費（国庫補助金）については、会計と税務の処理が異なるため当該差への対応として取り崩します。

1,965千円

(2) 太陽光発電国庫補助金積立金取崩額

2023年度に取得した太陽光発電設備の導入費用（国庫補助金）については、経理処理として積立金方式を採用しているため、当該資産法定の耐用年数に応じた減価償却費相当分を取り崩します。

1,341千円

(3) 法定準備金

定款第73条では、「出資総額の2分の1に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の10分の1に相当する額以上の金額を積み立てるものとする」と定めています。これは、出資金が払い戻し可能であるため財政的基盤を強固にするために設けられています。出資金の増加に応じた積み増しをします。

160,000千円

(4) 利用分量割戻金および出資配当金

1) 積立金等に必要な資金を確保した後、宅配事業の利用高に応じた利用分量割戻しの原資とします。供給高は計画を下回るものの、経常剰余金は計画を超過したことから、前年と同じ率で利用分量割戻しを実施します(2023年度2.0%、2022年度1.2%、2021年度1.2%)。

利用分量割戻金は宅配事業(共同購入・個配)利用高の2.0%とします。

602,608千円

2) 出資金は、生協の経営基盤の安定のために組合員からお預かりしたお金です。生協はすべての事業の元手になる大切な事業活動資金として組合員への出資配当を実施します。出資配当率は0.25%とします。

33,858千円

(5) 任意積立金

1) 宅配共同システムの稼働に加え店舗システム利用料及びその他システムの開発や改修などに多額の費用が見込まれるため、システム準備積立金を積み増します。

400,000千円

2) 近年、自然災害が多く発生しており、大規模地震や台風、集中豪雨などによる施設の損壊やその他のリスクに備える資金をリスク対応準備金として積み増します。

300,000千円

3) 将来における福祉事業の拡大や地域社会への貢献を高めるため、福祉積立金を積み増します。

100,000千円

4) 将来における減損損失の可能性に備えるため、減損評価準備金を積み増します。

100,000千円

5) 将来における取引先や他生協などの災害支援に備える資金として、災害支援基金を積み増します。

33,453千円

6) 産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持しさらに発展させるために、前年度である2023年度の産直生産物及び県内農産品の1点の購入につき1円を産直・県内農産基金として積み増します。

8,709千円

(6) 次期繰越剰余金

物価高騰をはじめとした環境変化に対応し持続して経営を安定させていくため次期繰越を行います。定款74条には毎事業年度の剰余金(当期剰余金)の20分の1に相当する額以上の金額を教育事業等繰越金として翌事業年度に繰り越すことが定められており、次期繰越剰余金にはこの教育事業等繰越金73,583千円が含まれています。

473,905千円

以上

剰余金処分案

生活協同組合コープしが

(単位：円)

I. 当期末処分剰余金		2, 209, 230, 597
II. 任意積立金取崩額		
1. 事業所内保育特別償却準備金取崩額		1, 965, 173
2. 太陽光発電国庫補助金積立金取崩額		1, 341, 194
合計		<u>2, 212, 536, 964</u>
III. 当期処分量		
1. 法定準備金	160, 000, 000	
2. 利用分量割戻金	602, 608, 436	
3. 出資配当金	33, 858, 663	
4. システム整備積立金	400, 000, 000	
5. リスク対応準備金	300, 000, 000	
6. 福祉積立金	100, 000, 000	
7. 減損評価準備金	100, 000, 000	
8. 災害支援基金	33, 453, 908	
9. 産直・県内農産基金	8, 709, 997	<u>1, 738, 631, 004</u>
IV. 次期繰越剰余金		<u>473, 905, 960</u>

注記

- 定款第77条による利用分量割戻しは、以下の基準で行います。
宅配事業（共同購入・個配）の処分量は、602, 608千円です。割戻し基準は、コンピュータに記録された共同購入・個配利用高の2. 0%とします。
- 定款第78条による出資配当は、年0. 25%で行います。なお、出資配当金は20. 42%の所得税及び復興特別所得税が源泉徴収され、期中の増資及び加入出資金は、日数按分で配当金を計算します。
- 定款第79条に基づき、計算した利用分量割戻金及び出資配当金の額に1円未満の端数が生じたときは、切り捨てとします。
- 利用分量割戻金及び出資配当金を受ける組合員は、2024年度末に在籍する組合員で、かつ、本総代会当日の在籍組合員であることを必要とします。
- 次期繰越剰余金には、定款第74条に定める教育事業等繰越金73, 583千円が含まれています。

2025年6月19日

理事長 白石 一夫

【参考】剰余金処分後残高

(単位：千円)

科目	2025/3/20現在残高	任意積立金取崩額	処分(積立)後残高
事業所内保育特別償却準備金	17,934	1,965	15,969
太陽光発電特別償却準備金	11,366	1,341	10,024

【参考】法定準備金及び任意積立金の処分見込み後残高

(単位：千円)

科目	2025/3/20現在残高	2024年度処分案	処分(積立)後残高
法定準備金	6,675,000	160,000	6,835,000
システム整備積立金	1,252,779	400,000	1,652,779
リスク対応準備金	1,000,000	300,000	1,300,000
環境事業積立金	1,051,502	-	1,051,502
店舗開設積立金	987,396	-	987,396
減損評価準備金	737,467	100,000	837,467
福祉積立金	234,420	100,000	334,420
産直・県内農産基金	48,152	8,709	56,862
災害支援基金	16,546	33,453	50,000

※2025/3/20現在残高は取崩後の残高です。

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

総代会議案検討会議資料「2024年度損益着地見込み」

(単位：千円)

科目	2024年度				2023年度	
	計画	着地見込	計画差	計画比	実績	前年累計比
1 総供給高	40,031,000	40,258,961	227,961	100.5	39,757,545	101.2
2 宅配事業供給高合計	31,431,000	31,310,105	△ 120,894	99.6	30,928,157	101.2
3 共同・個配合計 供給高	30,925,000	30,787,282	△ 137,717	99.5	30,431,191	101.1
4 共同 供給高	11,550,000	11,424,594	△ 125,405	98.9	11,510,525	99.2
5 個配 供給高	19,470,000	19,425,730	△ 44,269	99.7	18,965,740	102.4
6 共同・個配合計 供給割戻高	△ 95,000	△ 63,041	31,958	-	△ 45,074	-
7 夕食サポート 供給高	506,000	522,823	16,823	103.3	496,966	105.2
8 店舗事業合計 供給高	8,567,000	8,917,137	350,137	104.0	8,497,016	104.9
9 コープゼゼ店供給高	2,099,000	2,212,895	113,895	105.4	2,098,726	105.4
10 コープもりやま店供給高	2,391,200	2,505,564	114,364	104.7	2,383,439	105.1
11 コープかたた店供給高	2,209,400	2,334,558	125,158	105.6	2,200,454	106.0
12 コープながはま店供給高	1,941,000	1,954,768	13,768	100.7	1,885,791	103.6
13 店舗事業供給割戻高	△ 73,600	△ 90,649	△ 17,049	-	△ 71,396	-
14 エネルギー事業供給高	-	-	-	-	315,890	-
15 暮らしのサポート事業供給高	33,000	31,717	△ 1,282	96.1	16,480	192.4
16 総供給剰余金	10,319,900	10,484,586	164,686	101.5	10,047,726	104.3
17 宅配事業供給剰余金	8,181,000	8,306,591	125,591	101.5	7,800,744	106.4
18 共同・個配合計 供給剰余金	7,979,000	8,093,500	114,500	101.4	7,800,744	103.7
19 宅配供給剰余金(商品GP)	8,074,000	8,185,925	111,925	101.3	7,878,676	103.8
20 きんき帳手数料	-	△ 6,873	-	-	△ 10,253	-
21 CSS青果加工賃	-	△ 22,509	-	-	△ 22,604	-
22 共同・個配合計 供給割戻高	△ 95,000	△ 63,041	31,958	-	△ 45,074	-
23 夕食サポート事業供給剰余金	202,000	213,091	11,091	105.4	201,523	105.7
24 店舗供給剰余金合計	2,129,000	2,167,680	38,680	101.8	2,110,155	102.7
25 コープゼゼ店供給剰余金	511,000	531,614	20,614	104.0	513,816	103.4
26 コープもりやま店供給剰余金	598,700	608,872	10,172	101.6	597,454	101.9
27 コープかたた店供給剰余金	546,100	565,137	19,037	103.4	544,447	103.8
28 コープながはま店供給剰余金	473,200	462,056	△ 11,143	97.6	454,436	101.6
29 エネルギー事業供給剰余金	-	-	-	-	△ 70,041	-
30 暮らしのサポート事業供給剰余金	9,900	10,314	414	104.1	5,344	192.9
			10,484,586	0.0		
31 福祉事業収入	65,800	62,991	△ 2,808	95.7	57,098	110.3
32 福祉事業費用	75,000	81,879	6,879	109.1	66,359	123.3
33 福祉剰余金	△ 9,200	△ 18,888	△ 9,688	-	△ 9,260	-
34 その他事業収入	1,194,300	1,195,748	1,448	100.1	1,150,291	103.9
35 配達手数料収入	550,000	542,530	△ 7,469	98.6	532,898	101.8
36 共済受託収入	350,000	345,170	△ 4,829	98.6	348,315	99.0
37 リサイクル事業収入	51,000	51,014	14	100.0	48,763	104.6
38 サービス事業収入	39,000	41,630	2,630	106.7	39,751	104.7
39 チケット手数料収入	7,300	7,827	527	107.2	6,973	112.2
40 エネルギー取次手数料	49,000	59,648	10,648	121.7	28,335	210.5
41 その他	148,000	147,927	△ 72	99.9	145,254	101.8
42 事業総剰余金	11,505,000	11,661,447	156,447	101.3	11,188,758	104.2
43 事業経費	10,411,000	10,194,180	△ 216,819	97.9	10,026,416	101.6
44 人件費合計	4,298,000	4,169,391	△ 128,608	97.0	4,246,602	98.1
45 役員報酬	91,000	89,788	△ 1,211	98.6	89,779	100.0
46 職員給与	2,228,000	2,270,573	42,573	101.9	2,244,996	101.1
47 定時職員給与	1,032,000	1,052,188	20,188	101.9	978,760	107.5
48 退職給付費用	191,000	△ 2,297	△ 193,297	-	187,287	-
49 法定福利費	466,000	478,362	12,362	102.6	471,627	101.4
50 厚生費	43,000	38,563	△ 4,436	89.6	37,052	104.0
51 派遣人件費	58,000	46,163	△ 11,836	79.5	54,070	85.3
52 賞与引当金繰入損	189,000	196,049	7,049	103.7	183,027	107.1
53 物件費合計	6,113,000	6,024,788	△ 88,211	98.5	5,779,814	104.2
54 教育文化費	81,000	83,817	2,817	103.4	82,543	101.5
55 広報費	120,000	126,122	6,122	105.1	119,568	105.4
56 事業広報費	548,000	522,293	△ 25,706	95.3	546,717	95.5
57 消耗品費	144,000	156,438	12,438	108.6	132,084	118.4
58 物流消耗品費	284,000	275,489	△ 8,510	97.0	260,469	105.7
59 電算消耗品費	2,000	3,574	1,574	178.7	3,171	112.7
60 車輛運搬費	68,000	70,095	2,095	103.0	67,603	103.6
61 委託運搬費	48,000	48,161	161	100.3	46,043	104.5
62 車輛使用料	-	-	-	-	-	-
63 修繕費	24,000	14,536	△ 9,463	60.5	18,619	78.0
64 施設管理費	120,000	114,584	△ 5,415	95.4	109,518	104.6
65 保守料	71,000	66,715	△ 4,284	93.9	65,741	101.4
66 減価償却費	330,000	336,224	6,224	101.8	384,649	87.4
67 地代家賃	164,000	158,387	△ 5,612	96.5	158,642	99.8
68 リース料	233,000	226,035	△ 6,964	97.0	218,477	103.4
69 電算リース料	-	-	-	-	-	-

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

科目	2024年度				2023年度		
	計 画	着地見込	計画差	計画比	実 績	前年累計比	
70	水道光熱費	156,000	147,470	△ 8,529	94.5	139,850	105.4
71	保険料	7,000	8,236	1,236	117.6	7,730	106.5
72	委託料	3,274,000	3,270,696	△ 3,303	99.8	3,023,685	108.1
73	分担金	119,000	108,313	△ 10,686	91.0	98,458	110.0
74	研修費	30,000	20,511	△ 9,488	68.3	21,966	93.3
75	採用費	28,000	30,563	2,563	109.1	20,669	147.8
76	調査研究費	4,000	1,101	△ 2,898	27.5	2,588	42.5
77	会議費	24,000	19,715	△ 4,284	82.1	24,306	81.1
78	諸会費	32,000	30,396	△ 1,603	94.9	31,200	97.4
79	渉外費	5,000	4,108	△ 891	82.1	4,653	88.2
80	租税公課	76,000	66,893	△ 9,106	88.0	74,579	89.6
81	通信費	82,000	78,949	△ 3,050	96.2	79,225	99.6
82	旅費交通費	22,000	18,838	△ 3,161	85.6	21,630	87.0
83	雑費	12,000	12,327	327	102.7	12,479	98.7
84	直接管理費	-	-	-	-	-	-
85	貸倒引当金繰入損	5,000	4,188	△ 811	83.7	2,937	142.5
86	事業剰余金	1,094,000	1,467,267	373,267	134.1	1,162,341	126.2
87	事業外収益	212,000	376,343	164,343	177.5	494,814	76.0
88	事業外費用	87,000	83,786	△ 3,213	96.3	61,916	135.3
89	経常剰余金	1,219,000	1,759,824	540,824	144.3	1,595,239	110.3
90	特別利益	1,000	1,989	989	198.9	16,933	11.7
91	特別損失	1,000	26,068	25,068	2606.8	496	5255.7
92	税前当期剰余金	1,219,000	1,735,744	516,744	142.3	1,611,677	107.6
93	法人税等	-	324,363	324,363	-	298,299	108.7
94	法人税等調整額	-	△ 60,282	△ 60,282	-	3,093	-
95	当期剰余金	1,219,000	1,471,663	252,663	120.7	1,310,284	112.3
96	当期首繰越剰余金	-	419,962	-	-	-	-
97	合計（当期剰余金 + 当期首繰越剰余金）	-	1,891,625	-	-	-	-
98	任意積立金取崩額合計	-	317,599	-	-	-	-
99	システム整備積立金取崩額	-	256,589	-	-	-	-
100	減損評価準備金取崩額	-	19,999	-	-	-	-
101	福祉積立金取崩額	-	14,602	-	-	-	-
102	環境事業積立金取崩額	-	10,565	-	-	-	-
103	30周年記念事業積立金	-	9,000	-	-	-	-
104	災害支援基金取崩額	-	3,453	-	-	-	-
105	産直・県内農産基金取崩額	-	3,394	-	-	-	-
106	当期末処分剰余金	-	2,209,230	-	-	-	-
107	任意積立金取崩額（事業所内保育）	-	1,965	-	-	-	-
108	任意積立金取崩額（太陽光発電）	-	1,341	-	-	-	-
109	合計	-	2,212,536	-	-	-	-
110	法定準備金	-	160,000	-	-	-	-
111	利用分量割戻金	-	602,608	-	-	-	-
112	出資配当金	-	33,858	-	-	-	-
113	任意積立金	-	942,163	-	-	-	-
114	システム整備積立金	-	400,000	-	-	-	-
115	リスク対応準備金	-	300,000	-	-	-	-
116	福祉積立金	-	100,000	-	-	-	-
117	減損評価準備金	-	100,000	-	-	-	-
118	災害支援基金	-	33,453	-	-	-	-
119	産直・県内農産基金	-	8,709	-	-	-	-
120	次期繰越金	-	473,905	-	-	-	-

第2号議案

2025年度活動計画・ 収支予算承認の件

くらしと事業を取り巻く情勢

2025年度みんなが進めること

2025年度収支予算

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

■くらしをとりまく情勢とSDGs（持続可能な開発目標）の取り組み

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

<世界で>

地球温暖化と気候変動、世界規模の人口増加と貧困・格差、食糧・エネルギー問題、地域紛争の多発（ロシアのウクライナ侵攻長期化・中東情勢の悪化など）と難民問題、トランプ2.0、2025国際協同組合同年、世界規模の食料・エネルギー・水資源の枯渇、政治的国民の分断、地球温暖化と異常気象、核兵器禁止条約の発効、新興感染症予防対策



<日本で>

くらし・家計・食

日本社会の構造的変化＝人口減少・少子高齢化、世帯形成の変化と世帯数の減少、成年年齢の引き下げ、可処分所得の減少、内食・中食の需要、年収の壁、少数与党、利上げ、都市一極集中型から地方分散型



平和・人権

被爆・戦後80年、安全保障政策、日本国憲法（護憲と改憲）、日本政府の核兵器交渉会議不参加、日本被団協ノーベル平和賞受賞、ハラスメント問題



社会保障・福祉

福祉・介護の需要の増加と担い手不足、介護保険制度の改定、社会保障費の抑制と公的年金の見直し、社会的弱者の救済と貧困問題、健康志向の高まり、2025年問題（超高齢化社会の到来）、ヤングケアラー、ビジネスケアラー



経済

格差の拡大（所得格差と地域格差）、就業意識の変化、採用難・人材不足・人件費の高騰、流通業界の再編と宅配事業への企業の参入、EC市場やIoTの進化、ロボットによる自動化、生成AI（人工知能）の活用、キャッシュレス社会、インフレ・円安・物価高騰、サイバー攻撃の脅威、物流2024年問題、自動化などの技術革新



農業・食糧問題

農業人口減少・高齢化、食料・農業・農村基本法改正（食料の安定自給・農業の持続的発展・農村の振興など）、食の安全・安心への不安、食料安全保障、農業・酪農の持続的な発展、飼料・燃料の高騰、気候変動による作物の不作、令和の米騒動



<滋賀県で>

環境・エネルギー

電気小売・都市ガスの自由化、地球温暖化、マイクロプラスチック、廃棄物削減とリサイクルの推進、2050年カーボンニュートラル、生物多様性、エネルギー安全保障（電源構成の見直し）、世界湖沼の日



自然災害

阪神淡路大震災30年、異常気象による豪雨・竜巻、台風、地震（南海トラフ地震など）、噴火、防災（原発含む）



人口減少、大型スーパー・量販店の出店、就農者の減少と耕作放棄地の増加、地域格差と空き家の増加、琵琶湖システムの継承、北部地域の振興、外国人居住者の増加、国スポ・障スポの開催、バス路線の廃止、琵琶湖の環境保全と森林の荒廃化、地域コミュニティづくり



■組合員のくらし、声

- ・物価などが上がり家計は苦しくなったわ。
- ・雇用や年金、医療費など不安定で将来が不安だわ。
- ・遠くに暮らす両親の介護が心配です。
- ・子ども食堂やフードドライブなどみんなで支援できることが増えてきたね。
- ・安全安心で便利な簡便商品は助かるわ。
- ・地球温暖化なのか、大きな台風の発生や集中豪雨・地震などの災害が地域で発生して怖いわ。
- ・高齢で足も悪くなり、生協の宅配や夕食お弁当はとても助かっています。
- ・日本国憲法にもっと関心をもたないと。
- ・近くのスーパーがなくなり、免許を自主返納して毎日の買い物不便です。
- ・地元の生産者の野菜や食べ物が大好きです。
- ・働きたいけど子どもを預ける施設が少なくて困ります。
- ・一人暮らしになり、配達職の方々に毎週声をかけてもらえるのでうれしい。
- ・生協のトラックが走っているのを見かけると、町を見守っている感じがして安心です。

1. 「食」の大切さを考えよう!

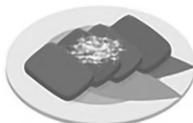
みんなで進めること

- 身近で気軽に商品の良さや生産者の想いを知ることができる場として「ぱくぱく商品知ってね! 交流フェス」を県内各地で開催します。
- たくさんの商品や生産者と出会うことができる場として商品大交流会を開催します。
- 滋賀県内の大学と協力し、健康に関するイベントを開催します。
- お届け商品の欠品や遅配のお知らせを組合員ごと・商品ごとに、『コープしがアプリ』でプッシュ通知ができるように進めます。
- 生協商品をきっかけに気軽にあつまっておしゃべりができる場となるよう「ぱくぱくパーティ」を設定します。楽しい場となるよう活用しましょう。
- 毎日の食事づくりに役立つよう、県内在住のインフルエンサーとコラボしたレシピ投稿を、コープしが公式SNS (Instagram・Facebook) を中心に配信します。コープしが公式アカウントをフォローして活用しましょう。



組合員のくらしの声

- メーカーのみなさんと直接話せて良かったです。いつも気を付けて私たちに商品を提供してくださっていることがよくわかりました。交流してお互いに顔を見て話すことが必要とつくづく思いました。
- お届け商品の量が減ったり、抽選などにより欠品になるならもっと早く知らせてほしいです。
- メニュー提案を参考にしています。コープクラブでもらうお試し商品は参考になっていて、次企画があるときに買ってみたいと思っています。



2025年度みんなで進めること

2. 「宅配がある暮らし」をもっと楽しもう！

みんなで進めること

- 宅配の利用方法のさらなる検討や配達手数料の対象範囲など、多様な利用方法について検討を進めています。
(グループ購入〈共同購入〉やステーション購入〈共同購入〉、個人配達以外の新しい利用方法を検討します)
- オートロックマンションで生協利用をしやすくなる働きかけを進めます。
- 組合員がWEBや注文書を通して手続きや意思表示ができるようにする仕組みを検討します。
(登録情報の変更や注文を休む意思表示など)
- 仲間づくりを推進し、多くの県民の方を迎え入れます。
(組合員からの紹介、訪問活動、広報を強め11,000名の仲間づくりをみんなで進めます)
- さらに利用しやすい注文書の検討を進め、『らくらく注文書』をスタートします。
(商品案内と注文用紙が一体になった注文書です。『らくらく注文書』は、通常の注文書とは別に、希望する組合員にお渡しします)
- ご自身での利用が困難な高齢の組合員の生協利用について、離れて暮らすご家族・組合員が安心できる方法や仕組みを検討します。



組合員のくらしの声

- 2人でグループをつくって利用できたらいいですね。
- 個配、ぬくもり割引利用に対して一定の利用金額で、配達手数料が無料になるといいなと思います。
- いつまでも利用できるように、情勢にあった料金体系を考えてほしいです。
- オートロックのマンションで個配で、いつも時間にいるようにしていますが、家にずっと居ないといけないので急な外出ができなくて困ります。
- 注文書で、配達をいつから再開するのかなども記載できるようになったらいいですね。担当さんに相談して可能となっていますが、記載するだけのお手軽感があるとよいです。
- 地域で買い物に苦勞している人がいます。コープしがの行っているサービスがまだまだ知られていないと思います。
- 高齢になり、注文書に記入することが難しくなってきました。商品案内書を見るのも大変です。

3. 「お店がある暮らし」をもっと楽しもう!

みんなで進めること

- 来店時、きれいで清潔感を感じてもらえるお店となるようにみんなで取り組みます。
- たくさんの組合員にお店を利用してもらうようさまざまな取り組みを進めます。
(まぐろの解体ショー、大感謝祭、周年祭など)
- 食べ方の提案や商品の特徴などを分かりやすく買い場に表示します。
- 環境に配慮した包材を使った商品づくりを進めます。
- 組合員とともに元気なあいさつや笑顔のアイコンタクトを実施します。みんなであたたかいお店を作っていきます。
- 困った組合員が声をあげやすく早急に解決ができるよう職員は気を配り、互いに寄り添いあう買い場をめざします。
- 組合員がコープのお店があって良かったと感じられるよう、組合員の声を大切にする運営に取り組みます。お店を利用して気づいたことは「組合員の声カード」や直接、職員に声を届けましょう。
- 商品の作り過ぎや過剰発注による食品ロスを防ぐため、適正な生産や在庫管理を行います。
- 移動店舗「あったか便」の魅力を多くの人に伝え、多くの人に知ってもらえるよう進めます。



組合員のくらしの声

- お買い物ポイントを好きな時に好きなだけ使えるようにしてほしいです。
- 「こびたカード」へ入金の際、少しでもメリットがあるようにしてもらえると魅力がありますね。
- お買い物サポートカーやあったか便を利用できる地域が広まるといいですね。
- 店舗のポイントがお得にたまるビンゴカードにかわるものはありませんか。
- 環境に配慮したお店作りを生協が先頭になってやっていただきたいです。
- 移動店舗がもっと地域に広まることを期待しています。

4. 暮らしの備えと「おたがいさま」を考えよう!

みんなで進めること

- 認知症への理解を深め、認知症の方とともに安心してくらす環境づくりを進めます。
(認知症学習会「認知症サポーター養成講座」の開催と役職員の受講の強化。認知症相談窓口の情報発信など)
- 介護が必要となった時の介護相談窓口や、介護が必要となった際、困らないための学習の機会を増やします。
- 訪問介護の新たな事業所を開設し、介護を必要とされる方へのお役立ちにつなげます。
- ささえあいサポートへ多くの人に関わり、人と人とのつながりがさらに広がっていくよう、みんなで進めていきましょう。
- フードドライブの取り組みに、さらに多くの人に関わってもらえるよう、関係団体との情報交換を定期的におこないます。みんなでフードドライブの取り組みに参加しましょう。
- CO・OP共済の職員学習をおこない、CO・OP共済をお伝えする期間を設けて、組合員のくらしにあわせた保障を提案します。
- 自然災害への備えとして、震災を忘れない取り組み、防災・減災について考える取り組みを実施します。自分のくらしの備えに役立てましょう。



組合員のくらしの声

- 家族が認知症となり、しっかりサポートしなければと思うのですが、どのように接していけばよいのか悩む毎日です。このような状況になり、もっと認知症や介護について知っておくべきだったと後悔しています。何事も備えは大切だと感じています。
- まだ介護は必要ないと思っていますが、いざ介護が必要になった時、どこに相談すれば良いのかわからないため、相談窓口くらいは知っておきたいです。
- 私のくらししている地域でもコープしがの介護事業が利用できたらいいと願っています。
- コープしがの介護事業所なら安心して利用できると思います。介護が必要になった時、利用できるの良いな。
- 長浜エリアでささえあいサポートの依頼が少ないので、もっと広げていきたいです。
- フードバンクに寄付をした商品が、どのような方に届き役立っているのかが分かりません。どのように役立っているか知ることが出来ると良いと思います。
- フードバンクには食品しか寄付出来ないのでしょうか？使っていない新品の文房具などが寄付できると役立つのではないかなと思うので、寄付できると良いなと思います。
- いざという時に共済が役立つかもしれないですよ、と勧められて加入しましたが、まさに共済に助けてもらう日がきました！不安だった入院費も、共済のおかげで心配なく払えました。ありがとうございました。
- 復旧、復興後も現地に行ったり、現地の様子を伝えたり、学び交流する場を継続されているのがいいと思います。

2025年度みんなで進めること

5. 暮らしをよくし、誰かの「笑顔につながるコト」をはじめよう!

みんなで進めること

- さまざまな視点からいのちのたいせつさを考える取り組みを進めます。2025年は被爆・戦後80年の年です。「平和」について考えてみましょう。
- 「考えてやってみよう! 5つのたいせつ」活動を進めます。
- コープの森から排出される間伐材の有効活用を検討します。
- コープの森 多賀での役職員森林づくりボランティアをはじめます。
- 組合員にリサイクルに関する内容を案内します。みんなでリサイクルに参加しましょう。(リサイクルリーフレットやホームページを活用してリサイクルに参加しやすい環境づくりを進めます)
- 能登半島地震へ継続した支援を進めます。4月より「能登を笑顔に! 募金」を毎月実施します。自分ができる支援に参加していきましょう。



組合員のくらしの声

- 戦後80年ですね。世界ではまだ戦争が続いているのに、知らない世代がほとんどですね。
- 5つのたいせつ活動で個人で活動した内容などを投稿することで寄付ができることは、活動をする、参加しようというきっかけになりますね。
- 森林から出る間伐材をどうするのかも社会的な課題になっています。有効活用ができれば森林を守ることに繋がります。
- たくさんの組合員がリサイクルについて知ることができれば、よりたくさんの方がリサイクルに参加してくれると思います。
- 「ペットボトルのリサイクルについて」のお話がありました。わかりやすい説明でこのように紹介してくださっているとリサイクルに出そうかなと思います。集められたペットボトルがその後どうなるかわかると組合員もリサイクルに参加しやすくなると思います。
- リサイクルについての案内についてですが、たくさん紹介されていてもわかりにくいので、例えば今回はペットボトルについて、仕分け袋についてなど一つの項目にスポットをあてて説明されるのもいいかと思います。

6. 「ありがとう」でつながる私たち!

みんなで進めること

- 国連が定める国際協同組合年として、協同組合の価値を考える取り組みを進めます。
- コープの森 あぶらひ・多賀で、琵琶湖や森林を守ることの大切さを考える取り組みを進めます。
- カスタマーハラスメント対策を進めます。
(方針の策定、対応研修の実施、ネームプレートの表記変更、廃止を含めた検討)
- 職員が働きやすい環境づくりを継続して進めます。
(職員用の熱中症対策ツールの導入、年間休日日数の増加など)
- コープしが子会社グループの総力を高め、それぞれの事業を通じて組合員の暮らしへの役立ちをより高めます。
- 組合員へ安定して商品を届けられるよう夕食弁当の製造や冷凍保冷剤の凍結の業務を担う(株)コープシステムサービスに貸付を行うことにより、運営の支援をおこないます。



組合員のくらしの声

- コープの森では、森林を作る、森林を増やすことをどのように進めているのですか。組合員も参加できますか。
- 交通トラブルなどの際、職員の名前を覚えてしまうかもしれない。今はネットもあるので、ネームプレートは漢字やフルネームではないほうがいいかもしれない。
- 真夏のトラックの中は暑そうで担当さんに聞くと暑いと話していた。暑い中頑張っておられる担当さんにもう少し配慮をしてほしい。冷房を車内全部にするわけにはいかないけれど商品も中に入っているのだから配慮してほしいです。



みんなをめざす目標!

「利用する」(コープのある暮らし! みんなで利用しよう!)

くらしにあった商品を買う…
くらしに役立つサービスを使う…
こまったときに相談できるサポートがある…
想いをカタチにしたい時には活動がある…
生協は、くらしを良くする道具…

「参加する」(わたしたちのコープ! みんなで参加しよう!)

利用して、感じたことを声にしてみる…
知るコト、学ぶコト、体験するコト…
誰かと想いを伝え合うおしゃべり…
くらしのために…誰かのために、わたしのできるコト!
生協をみんなの声や行動でもっと元気に!



「広める」(わたしのコープをあなたにも! みんなで広げるコープの輪!)

「あれ、よかったよ!」っておいしいモノ、便利なコトは誰かに伝えたい…
知ったコト、学んだコトを仲間で分かち合いたい…
生協の良さを、ご近所さんや、地域にも知ってほしい…
生協の輪を広めると、仲間が増えて、くらしはもっと楽しく、もっと笑顔になる!
組合員と役職員みんなでコープを広めよう!

利用して…、参加して…、広めあって…
さあ! 2025年度も、みんなで生協を楽しもう!
滋賀に生協があってよかったって思えるコープしがを創ろう!
そして、みんなで理念の実現に向けて! ともにつくる笑顔あふれる未来!

みんなをめざす目標!

□供給高

・ 宅配事業	319億2500万円	(前年比 101.9%)
・ 店舗事業	90億3500万円	(前年比 100.9%)
・ 夕食サポート	5億3400万円	(前年比 102.1%)

□加入者数

11,850人

□出資金純増額

3億8945万円

□経常剰余金

11億6670万円 (前年比 66.2%)

2025年度収支予算書案について

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

I. 収支予算概要

1. 基調

高齢化、人口減少、世帯の縮小、地域のつながりの希薄化がすすむ中で、買い物、子育て、介護、食事など暮らしの上での困りごとが増えてきています。このような中で組合員に対して、コープしごの認知を高め、コープしごを頼りにしていただける様々なはたらきかけが必要になります。また、役職員に対しても生き活きとやりがいを持って働き続けることができる環境を作っていくことが必要です。

上記を実現させるためには、前年ベースにとらわれない具体的な施策をスピード感を持って執行することや、そのための知恵と工夫、選択と集中が必要となります。今後の事業や活動と費用の見通しを明確に持ち、2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」を実現するための損益計画とします。

基本数値としては、組合員、県民の皆さんにコープしごの良さや楽しさをさらに広めることや、事業の効率・能率が向上する仕事を追求することをもって、供給高は増収予算としますが、物価高騰に伴う各種コストの増加や将来につながる戦略的投資を見込み、事業剰余金は減収予算とします。

2. 基本数値

1) 損益

供給高	409億6000万円 (前年比101.7%)
供給剰余金	106億1630万円 (前年比101.2%)
事業総剰余金	117億9180万円 (前年比101.1%)
事業経費	107億9180万円 (前年比105.8%)
人件費	45億円 (前年比107.9%)
物件費	62億9180万円 (前年比104.4%)
事業剰余金	10億円 (前年比68.1%)
事業外損益	1億6670万円 (前年比57.0%)
経常剰余金	11億6670万円 (前年比66.2%)

2) 経営指標

供給剰余率	25.91% (前年比△0.13%)
事業総剰余率	28.78% (前年比△0.18%)
人件費率	10.98% (前年比+0.63%)
物件費率	15.36% (前年比+0.40%)
経常剰余率	2.84% (前年比△1.53%)

3) 組織数値

出資金純増額	3億8945万円
加入組合員数	11,850人

II. 損益計画

1. 収益

1) 宅配事業

①供給高

「組合員が安心・信頼・満足できる状態」を目指し、生協の取り組みや商品、サービスを積極的にお伝えすることを大切にしていきます。どの食卓にも必要な「牛乳」「たまご」だけでなく、そのご家庭が必要とされる商品を毎週確実にお届けできるように、毎週自動でお届けできる商品についてすべての組合員へ丁寧にお知らせしていくことを継続します。商品を中心においた対話を軸に組合員の食卓をいつまでも支えられるように、つながりを強め利用の輪を広げます。また、生協に未加入の方や宅配を現在利用されていない組合員に対して丁寧にコープの良さを案内しご利用につなげます。

引き続き組合員の暮らしにお役立ちできる商品企画や品揃えを、コープきんき事業連合との連携強化を図りながらすすめていきます。媒体再編により組合員に喜ばれる商品企画の充実や組合員、役職員への商品の学習や情報発信を強化します。インターネット注文やアプリ活用の研究を

すすめ、便利な注文方法を広げる一方、インターネットを利用されない高齢の組合員層にむけてらくらく注文書の運用をスタートし、全ての世代の組合員の暮らしへのお役立ちをすすめます。また、CO・OP商品や産直商品、生協ならではの商品の品ぞろえを広げながら、毎週自動お届け商品について、ポイント付与を行って、商品の魅力や価値を紙面とWEB、配送を通して伝え、一人当たりの利用点数伸長につなげます。

宅配センター職員の休暇取得やセンター運営のしやすさの向上に向けて、8月のお盆の週を一週間休業します。営業日数が前年より2日少なくなります。供給高予算は、一点あたり単価の上昇もふまえ、増収予算とします。

供給高予算は、一点あたり単価の上昇もふまえ、増収予算とします。

夕食サポート事業では人生100年時代の健康的な食事のためのサポートとして組合員に合った提案をすすめ、食数の増加を図ります。また、広報企画を通じて夕食サポートをご存じでない方への認知度を高める取り組みや、利用を休まれている組合員への利用再開の案内も丁寧に行うことで、増収予算とします。

宅配事業合計	319億2500万円 (前年比101.9%)
(内訳) 共同購入・個配合計	313億9100万円 (前年比101.9%)
供給割戻高	△6000万円 (前年比 -)
夕食サポート	5億3400万円 (前年比102.1%)

②供給剰余金

コープきんき事業連合との連帯による仕入の強化を継続し、CO・OP商品への結集と媒体再編により効率の良い商品の配置を行うことで供給剰余率を高め、供給剰余金の確保に努めます。また、商品の価値に見合った価格設定、EDLP(いつもおトクな価格)商品の価値、良さを組合員に広げることで、商品の利用を高めます。以上のことから、供給剰余金予算は増益予算とします。また、夕食サポートは、原料価格の値上がりが見込まれるため、組合員の利用の広がりを丁寧にすすめることとしますが、減益予算とします。

宅配事業合計	83億6430万円 (前年比100.6%)
(内訳) 共同購入・個配合計	81億5250万円 (前年比100.7%)
夕食サポート	2億1180万円 (前年比99.3%)

2) 店舗事業

①供給高

組合員、県民にコープしが店舗の良さ、楽しさを知ってもらうために、呼びかけを強化し新たに向かい入れる組合員を増やします。そのために、組合員の声やお困りごとに耳を傾け、それらをいかした商品、サービス、接遇を高めます。供給高は、物価高による買い上げ点数の減少や周辺競合店との競争激化による来店鈍化の影響を個店別に鑑みながらも全体では伸長を目指します。

移動店舗は、地域にますます頼られる存在としてこまめな要望に応えながら、お役立ちを広めます。

店舗事業合計	90億3500万円 (前年比100.9%)
(内訳) コープゼゼ店	22億5600万円 (前年比101.9%)
コープもりやま店	24億9500万円 (前年比99.5%)
コープかたた店	23億4300万円 (前年比100.3%)
コープながはま店	20億3800万円 (前年比104.2%)
(内、移動店舗)	3000万円 (前年比94.5%)
供給割戻高	△9700万円 (前年比 -)

②供給剰余金

生鮮部門は、商品、カテゴリーごとの値入率の洗い出しを行い、原料高による値入減少を正しく検証し、取引先や原料の変更、商品設計の見直しによる新たな価値の付加と価格改定を行い見栄えや鮮度にこだわりコープにしかない品質をさらに高めることで、一品あたりの収益性の向上を図り供給剰余率の伸長につなげます。きんき共同化商品は、手に取っていただきやすい価格政策を実施することで利用点数を増やし、剰余金の伸長につなげます。移動店舗は、必要な商品の

聞き取りや価値のあるコープ商品や生鮮商品の供給を高めることで供給剰余率の伸長を図ります。

作業計画表の運用精度向上とシステムや仕組みを導入し、店舗が持続可能に運営できるよう効率化、作業改善をすすめます。今後も役立ち続けることができる経営指標として、全店舗での直接剰余金の黒字化を目指します。

店舗事業合計	22億5200万円（前年比103.3%）
（内訳）コープぜぜ店	5億6150万円（前年比105.6%）
コープもりやま店	6億2050万円（前年比101.9%）
コープかたた店	5億7550万円（前年比101.8%）
コープながはま店	4億9450万円（前年比107.0%）
（内、移動店舗）	975万円（前年比94.5%）

3) 介護事業

介護事業は、さらに高齢化がすすみ介護を必要とされる方が増える中、在宅介護サービスの提供を通じて、住み慣れた地域、自宅で過ごしたいとの思いを持たれる高齢者の願いの実現につなげます。訪問介護では、新たな事業所の開設を計画しており、居宅介護事業含め各事業所の介護職員体制を整え、地域包括支援センターや他の介護事業所との連携を強め、「ご利用者視点のケア」を実践しご利用者を増やすことで増収予算とします。また、適正な人員配置と運用精度を高めることで福祉剰余金は前年度より改善させます。

福祉事業収入合計	9070万円（前年比143.9%）
福祉事業費用	1億190万円（前年比124.4%）
福祉剰余金	△1120万円（前年比—）

4) その他事業収入

その他事業収入全体として減収予算とします。

- ①配達手数料収入は、個人配達の利用拡大を見込み、増収予算とします。
- ②共済事業は、必要な保障を組合員の立場に立って提案することで新規契約者を増やします。給付の呼びかけを継続的に行うことで「請求忘れゼロ運動」に取り組み、加入者を大切にしながら解約の削減・保有件数の伸長に繋げるものの、たすけあいの解約が進んでおり減収予算とします。
- ③リサイクル事業収入は、商品案内書の選択丁合の普及に伴う回収量の減少を見込みながらも、組合員へ回収の働きかけを強めること、また、買取価格を見直したことなどにより増収予算とします。
- ④サービス事業収入は、金額構成比の大きいハウジング関係の取り組みを重点に置くことや、サービス事業専用媒体「コープしがすまいる」の新発行で組合員の目に触れる機会が増加することが見込まれることから、増収予算とします。
- ⑤チケット手数料は、コロナ禍明けの需要の集中が一段落したこと、物価高騰により娯楽への支出が抑えられる傾向があることから減少見込みではありますが、サービス事業専用媒体「すまいる」の新発行効果でこれまで見てもらえなかった層の利用を見込み、相殺で前年維持を目指します。
- ⑥エネルギー取次収入は、エネルギー情勢の厳しい状況が続く中、コープでんきの新たな魅力を作り出し案内することで、契約件数の減少、減収をできる限り抑制します。

その他手数料収入合計	11億8670万円（前年比99.2%）
（内訳）配達手数料収入	5億4800万円（前年比101.0%）
共済受託収入	3億4200万円（前年比99.0%）
リサイクル事業収入	5190万円（前年比101.7%）
サービス事業収入	4200万円（前年比100.8%）
チケット手数料収入	830万円（前年比106.0%）
エネルギー取次収入	5320万円（前年比89.1%）
その他	1億4130万円（前年比95.5%）

5) 事業総剰余金

事業総剰余金は前年実績を上回る117億9180万円、事業総剰余率は28.78%で増収予算とします。

2. 事業経費

人件費は、業務の見直しや効率化を図りながらも、事業継続に必要な人員の確保や物価上昇に伴う交通費の増加分やベースアップ等を見込むことで、前年実績を上回る45億円とします。物件費は、コープしがの良さや楽しさを徹底して広める取り組みや、働きやすい職場づくりに向けた費用執行など将来に向けた戦略的投資を行い、前年実績を上回る62億9180万円とします。主な内訳としては、広報費及び事業広報費の増額、物価高に伴う委託料の値上げなどを予算化します。人件費と物件費を合わせた事業経費全体としては、前年実績を上回る107億9180万円とします。

3. 事業剰余金

事業剰余金は前年実績を下回る10億円、事業剰余率は2.44%で減益予算とします。

4. 事業外損益

事業外損益は、太陽光発電装置の売電収入や事業所内保育所の事業収入、東近江市・甲良町・甲賀市・近江八幡市・高島市各自治体の子育て支援事業の受託収入を予算化します。

5. 経常剰余金

経常剰余金は前年実績を下回る11億6670万円、経常剰余率は2.84%で減益予算とします。

6. 特別損益、税引前当期剰余金

- 1) 特別利益は、出資配当金及び利用分量割戻金の確定差額分を予算化します。
- 2) 特別損失は、固定資産の除却等を見込み予算化します。
- 3) 税引前当期剰余金は、11億6670万円で前年を下回る減益予算とします。

Ⅲ. 投資計画

投資計画は、今後の事業拡大やさらなる組合員サービス、事業効率の向上につながる設備や仕組みの導入などを見込んだ計画とします。理事会で経営状況や財務の状態等を十分に考慮し慎重に審議をすすめていきます。

1. 投資（詳細は【別紙③】投資計画（案）を参照）

投資合計	23.1億円
（内訳）1) 店舗関連（SM5号店土地取得等）	20.5億円
2) 各種システム導入や機器入替等	2.1億円
3) システム内部開発関連等	0.5億円

2. 資金調達

資金調達は、外部調達ではなく自己資金調達とします。

以上

2025年度収支予算(案)

2025年3月21日～2026年3月20日
いずれの値も収益認識会計基準適用後の数値です

【事業全体の予算】

科目名	予算(案)	前年比	
供給高	409億6000万円	101.7%	▶
供給剰余金	106億1630万円	101.2%	▶
事業総剰余金	117億9180万円	101.1%	▶
事業経費	107億9180万円	105.8%	▶
人件費	45億円	107.9%	▶
物件費	62億9180万円	104.4%	▶
事業剰余金	10億円	68.1%	▶
事業外収益	2億6080万円	69.2%	▶
事業外費用	9410万円	112.3%	▶
経常剰余金	11億6670万円	66.2%	▶
特別利益	100万円	50.2%	▶
特別損失	100万円	3.8%	▶
税引前当期剰余金	11億6670万円	67.2%	▶

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

【事業全体の予算】

組合員、県民の皆さんにコープしがの良さや楽しさをさらに広めることや、事業の効率・能率が向上する仕事を追求することをもって、供給高は増収予算としますが、物価高騰に伴う各種コストの増加や将来につながる投資を見込み、事業剰余金は減益予算とします。

要点・補足

コープしがの良さや楽しさをさらに広める取り組みを強化し前年を伸長

市場価格に合わせた値ごろ感のある価格設定による一人当たり利用点数の伸長、GPRの見直し

供給剰余金、福祉剰余金、その他事業収入の合計額

人件費、物件費の合計額

ベースアップを含む

県民や組合員に広くコープしがを知ってもらう取り組み、らくらく注文書の導入、職員への商品学習の強化、コープぜぜ店10周年祭や電子マネー特典の強化

事業総剰余金から管理費及び諸経費を差し引いた額

太陽光発電売電収入、受託事業収入、受取配当、受取利息等

受託事業費用、商品返品処理、太陽光発電の償却費等

事業剰余金＋事業外収益－事業外費用の合計額

出資配当や利用割戻金の差額精算、会計処理の変更時の特別差額の収入等

固定資産の除売却損や固定資産の処分費用、会計処理の変更時の損失費用等

経常剰余金＋特別利益－特別損失

2025年度 事業経費予算(案)

自：2025年3月21日 至：2026年3月20日

人件費は、業務の見直しや効率化を図りながらも、事業継続に必要な人員の確保や物価上昇に伴う交通費の増加分やベースアップ等を見込むことで、前年実績を上回る45億円とします。物件費は、コープしがの良さや楽しさを徹底して広める取り組みや、働きやすい職場づくりに向けた費用執行など将来に向けた投資を行い、前年実績を上回る62億9180万円とします。主な内訳としては、広報費及び事業広報費の増額、物価高に伴う委託料の値上げなどを予算化します。人件費と物件費を合わせた事業経費全体としては、前年実績を上回る107億9180万円とします。

(単位：千円)

事業経費	2025年度予算(案)	2024年度実績	前年比(%)	摘要
1 人件費	4,500,000	4,169,391	107.9%	▶
2 役員報酬 理事報酬	76,000	75,328	100.9%	▶ 理事に対する報酬
3 役員報酬 監事報酬	15,000	14,459	103.7%	▶ 監事に対する報酬
4 職員給与	2,340,000	2,270,573	103.0%	▶ 総合・エリア・シニア・嘱託各スタッフの給与・賞与
5 定時職員給与	1,130,000	1,052,188	107.3%	▶ 専属・定時・アルバイト各スタッフの給与・賞与
6 退職給付費用	170,000	△ 2,297	—	▶ 各スタッフ(アルバイト除く)の退職一時金等退職給付債務の当期費用
7 法定福利費	492,000	478,362	102.8%	▶ 社会保険料の生協(事業主)負担分
8 厚生費	42,000	38,563	108.9%	▶ 職員等の保健、慰安、慶弔等に要する費用
9 派遣人件費	39,000	46,163	84.4%	▶ 派遣労働契約に基づいて支払う派遣の委託費用
10 賞与引当金繰入額	196,000	196,049	99.9%	▶ 翌期に支給する賞与のうち、当期負担分として引き当てる額
11 物件費	6,291,800	6,024,788	104.4%	▶
12 教育文化費	95,000	83,817	113.3%	▶ 地域委員会・エリア活動等組合員の教育・文化活動及び組合員組織の運営、誌活動に要する費用等
13 広報費	194,000	126,122	153.8%	▶ 県民や未加入者に加入促進や生協を広く知らせるための費用
14 事業広報費	541,000	522,293	103.5%	▶ 商品案内書、OCR注文書、利用促進チラシ、新聞折込チラシや商品の試食等に要する費用
15 消耗品費	152,000	156,438	97.1%	▶ 事務所用備品、店舗のレジ袋、コピー用紙、事務机、文具等の費用
16 物流消耗品費	268,000	275,489	97.2%	▶ ドライアイス、シッパ―内掛け袋等の物流関連の費用
17 電算消耗品費	3,000	3,574	83.9%	▶ コンピューター関連の帳票、消耗品の費用
18 車両運搬費	70,000	70,095	99.8%	▶ 燃料費、車両の維持管理費用、車検、自動車保険料等の費用
19 委託運搬費	47,000	48,161	97.5%	▶ 各店舗への商品運搬、注文書やリサイクル品等の転送等に要する費用
20 修繕費	36,000	14,536	247.6%	▶ 有形固定資産の維持、修理に要する費用

【事業全体の予算】

組合員、県民の皆さんにコープしがの良さや楽しさをさらに広めることや、事業の効率・能率が向上する仕事を追求することをもって、供給高は増収予算としますが、物価高騰に伴う各種コストの増加や将来につながる投資を見込み、事業剰余金は減益予算とします。

(単位：千円)

事業経費	2025年度予算(案)	2024年度実績	前年比(%)	摘要
21 施設管理費	116,000	114,584	101.2%	▶ 施設の保安警備、衛生、清掃等の費用
22 保守料	71,000	66,715	106.4%	▶ 機械装置、コンピューター等の保守費用
23 減価償却費	335,000	336,224	99.6%	▶ 建物、器具備品等の固定資産の償却費
24 地代家賃	166,000	158,387	104.8%	▶ 土地や建物の賃借料
25 リース料	226,000	226,035	99.9%	▶ 機械装置、車両等のリース料
26 水道光熱費	148,000	147,470	100.3%	▶ 電気、ガス、水道の費用
27 保険料	10,000	8,236	121.4%	▶ 建物、商品の火災保険料 盗難、傷害保険料
28 委託費	3,401,000	3,270,696	103.9%	▶ 物流仕分委託、配送委託等や商品案内書等作成の業務委託、公認会計士等に支払う顧問料等
29 分担金	115,000	108,313	106.1%	▶ 連帯事業等の分担費用等
30 研修費	30,000	20,511	146.2%	▶ 役職員の研修、教育に要する費用
31 採用費	31,000	30,563	101.4%	▶ 総合・エリア・シニア・嘱託・専属・定時各スタッフの募集、セミナー等の採用に要する費用
32 調査研究費	1,000	1,101	90.7%	▶ 市場調査、商品検査、研究開発等の費用、新聞、書籍等の購入費用
33 会議費	17,000	19,715	86.2%	▶ 機関会議（総代会、理事会等）、経営内部会議等に要する費用
34 諸会費	30,000	30,396	98.6%	▶ 日本生協連、県連、その他会費
35 渉外費	5,000	4,108	121.7%	▶ 業務上必要な渉外のために要する費用、他生協・取引先慶弔費用
36 租税公課	66,000	66,893	98.6%	▶ 固定資産税や消費税、印紙税等（法人税、住民税、事業税は除く）大津市事業所税
37 通信費	83,000	78,949	105.1%	▶ 電話料金、郵送料等の費用
38 旅費交通費	20,000	18,838	106.1%	▶ 役職員の出張、業務外出費用
39 雑費	14,000	12,327	113.5%	▶ 登記関係の行政手数料、その他の費用
40 貸倒引当金	800	4,188	19.1%	▶ 供給未収金等の金銭債権の回収不能に備える引当金の繰入額

第3号議案

任期満了に伴う役員選任の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いいたします。

1. 提案の内容

第45回通常総代会をもって第16期理事および監事の任期が満了となります。定款第19条および役員選任規約に基づき、別記名簿の役員候補者を第17期役員として選任することを提案します。

2. 第17期役員体制の考え方

第17期は、コープしが理念を実践によって定着できることを目指すとともに、2030年ビジョン実現のための「第Ⅱ期やくだつ・つながる・ひろがる計画」の実践を進める大きな役割があります。一人ひとりがこの役割と責任を自覚し、組合員理事・常勤理事・有識理事が役割を分担して、相互に補完し合うことで、監事を含めて役員全体で責任を持つ体制を構築します。

- 1) 常勤理事は、ビジョン・中期計画・年度方針に基づき職員組織を牽引して業務を執行し、事業計画及び予算を着実に執行する経営管理責任を担い、結果責任を果たす集団です。事業が多様化し高度化する中で、経営力量と迅速・的確な判断に基づく業務執行、人財の育成、他団体との協力関係の構築などに役割を發揮します。自ら判断して、強い意志と信念をもって業務を遂行すること、常勤理事会が集団として認識と意思を充分通い合わせ業務執行を行います。今まで以上に事業の幅の広がる中で、執行役員との分担も含めて、1人ひとりの役割發揮をさらに強めることを課題として体制を構築します。
- 2) 全域組合員理事は、地域理事と共により良い組合員理事の活動をめざすため、地域理事の相談役と共にリードする役割をもって学びの提供や課題抽出・問題解決を図り、組合員理事全体の役割發揮をめざします。また、それぞれの任務を通して、常勤理事と非常勤理事が理事会チームとして健全かつ円滑に運営が図れるよう、組合員視点での課題共有・調整・考え方の整理などを行い、理事会全体のガバナンス強化につなげていきます。さらに対外的な役割を持ち、豊富な知識や情報を地域理事や理事会に還元していく役割を担います。
- 3) 有識理事は、社会経済の激変する環境の中で、コープしがの発展のために知恵を寄せ合うこと、高度化・複雑化した事業経営に対し、専門的な知見・情報・経験等をもって理事会での意思決定に参画する役割を担います。また、常勤理事の業務執行が、それぞれの専門分野の視点や経験・知見から見て社会的責任に応えるものであるか助言する役割を担います。コープしが理事会におけるガバナンスを構築すること、コープしがが社会的な役割を果たすため様々な専門分野の視点を持って専門家体制をつくります。
- 4) 組合員理事は、組合員のくらしの多様化や地域性がより顕著に表れてきた中で、組合員のニーズや想いと願いを的確に把握し、理事会に反映するように組織運営を進めます。地域組合員理事は、組織改革を引き続き推進する中で、地域の組合員の主体的な関わり、地域での生協のつながりが広がるよう運営参加を促進します。

5) 監事は、組合員の負託を受けた独立の機関として理事の職務の執行を監査することによって、コープしがの健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える良質な統治体制を確立する責務を負っています。監事は、その責務を果たすために、理事会やその他重要な会議への出席、理事及び職員等から受けた報告の検証、業務及び財産等の調査等を行い、理事等に対する助言や勧告等の意見を表明するなど、必要な措置を講じます。

3. 役員選任の経過

1) 役員推薦委員会の設置

理事会は、役員選任規約第5条、第6条に基づき、総代から広く委員を募った上で役員推薦委員会を設置しました。役員推薦委員会には次の2つがあります。

- ①地域区役員推薦委員会：地域組合員理事の推薦を行います。地域組合員理事は4つの地区からそれぞれ選出されるので、各地区に推薦委員会があり、それぞれ総代5名と理事1名で構成します。
- ②全体区役員推薦委員会：常勤理事、全域組合員理事、有識理事、監事の推薦を行います。4つの地域区推薦委員会の委員長・副委員長の合計8名（総代）と理事3名で構成します。全体区役員推薦委員会では、役員推薦の拠り所となる「役員推薦の考え方（基準）」を策定しました。

2) 第17期役員定数を決定

理事会は定款第18条および役員選任規約第3条に基づき、第17期役員の定数を、第16期と同じ理事26名、監事5名と決定し、選出区分ごとの定数を次の通りとしました。

役員	選任区	区分	定数
理事 26名	全体区 14名	常勤理事	4名
		全域組合員理事	4名
		有識理事	6名
	地域区 12名	西地区	3名
		南地区	3名
		東地区	3名
		北地区	3名

役員	区分	定数
監事 (常勤含む)	全体区	5名

3) 理事会による第17期役員候補者の擁立

理事会は、「第17期理事会体制について」を策定し、この考え方に基づき第17期役員候補者を擁立し、役員推薦委員会に推薦の要請を行いました。

4) 地域区組合員理事候補者の申出受付

役員選任規約第6条に基づき、組合員自らの意思で地域区組合員理事候補者の検討対象となることができる「地域区組合員理事候補者推薦希望の申出」の公示を行いました。組合員からの申出はありませんでした。

5) 役員推薦委員会による役員候補者の推薦

全体区役員推薦委員会および4つの地域区役員推薦委員会は、理事会の推薦要請候補者について「コープしが役員推薦の考え方（基準）」に基づき審議し、推薦すべき候補者を決定しました。

6) 役員選任議案の決定

理事会は、総代会に提案する役員選任議案を決定しました。

第17期役員候補者名簿

1. 全体区理事

(1) 常勤理事候補者 4名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
汚イ 加オ 白石 一夫 (1963年)	1986～2005年度 2005～2010年度 2011～2018年度 2019年度～	職員(宅配事業、政策企画、理事会) 常務理事 専務理事 理事長
効ハシ ゴウ 高橋 剛太 (1971年)	1998～2019年度 2019年度～	職員(宅配事業) 専務理事
テラダ マト 寺田 真 (1964年)	1988～2021年度 2021年度～	職員(宅配事業、組織、総務人事) 常務理事
ヤカカ ヒサシ 安岡 寿司 (1972年)	1990～2019年度 2019年度～	職員(店舗事業) 常務理事

(2) 全域組合員理事候補者 4名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
カワセ アヤ 河瀬 文 (1976年)	2012～2018年度 2015～2018年度 2016～2017年度 2017年度 2018年度 2019年度～	総代 甲賀市北地域委員 第4エリア組合員活動委員 第37回通常総代会議事運営委員 第4エリア産直・県内商品普及委員 組合員理事
ツツイ ヨリコ 筒井佳理子 (1953年)	2014～2016年度 2015年度 2016年度 2016年度 2017年度～ 2021年度～	総代 第6エリア商品開発検討委員 第6エリア地域福祉委員 第36回通常総代会議事運営委員 組合員理事 常任理事
ミタニ ナミ 三谷 奈美 (1977年)	2015～2018年度 2015～2016年度 2017～2018年度 2017年度 2018年度 2019年度～	総代 草津市地域委員 守山市地域委員 第37回通常総代会議長 第3エリア組合員活動委員 組合員理事
モリ ナオコ 森 奈緒子 (1979年)	2016～2020年度 2020年度 2020年度 2021年度～	総代 ささえあいコーディネート・リーダー 第40回通常総代会議事運営委員 組合員理事

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

(3) 有識理事候補者 6名

氏名(生年)	主 な 経 歴
材ヱギ カヲサ 大杉 成聖 (1964年)	1987～2016年 びわ湖放送入社、各要職を歴任 2010年～ 滋賀経済産業協会・経営委員会、監事(2024年～) 2011～2016年 びわ湖放送取締役放送管理局長 2017～2024年 びわ湖放送常務取締役放送管理局長 2021年度～ 有識理事 2024年～ びわ湖放送専務取締役 (マスコミ関係者として要請)
カヤマ サシ 片山 聡 (1971年)	2000年 弁護士登録(兵庫県弁護士会) 2007年 滋賀弁護士会に登録替え、オアシス法律事務所開設 2018年度 滋賀弁護士会会長、近畿弁護士会連合会常務理事、 日本弁護士連合会常務理事 2019年 中小企業診断士登録 2021年度～ 有識理事 (法律の専門家として要請)
ジュウリ カヰヒ 十二里和彦 (1957年)	1980年 滋賀銀行入行 2000～2011年 滋賀銀行各支店長を歴任 2011～2014年 滋賀銀行取締役 東京支店長 2014～2016年 滋賀銀行常務取締役 本店営業部長 2016～2022年 滋賀県信用保証協会常務理事 2023年度～ 有識理事 (法人経営経験者として要請)
スギヰキ キミ 杉澤喜久美 (1972年) (新任)	2011年 公認会計士登録 2012年 税理士登録 2014年 杉澤公認会計士税理士事務所開設 (会計・税務の専門家として要請)
セコ ヨシカツ 瀬古 良勝 (1950年)	2008年 滋賀県商工観光労働部長 2009年 滋賀県政策監 兼 防災危機管理監 2011～2014年 滋賀県土地開発公社理事長 2014～2017年 国立大学法人長崎大学客員教授 2018年～ 野洲市教育委員 2019年度～ 有識理事 (行政経験者として要請)
タニグチ イキ 谷口 郁美 (1963年) (新任)	2014年度 滋賀県社会福祉協議会 滋賀の縁創造実践センター所長 2019～2023年度 滋賀県社会福祉協議会事務局長 2022～2023年度 滋賀県社会福祉協議会専務理事兼事務局長 2023年度～ 滋賀県社会福祉協議会筆頭副会長 (地域福祉の専門家として要請)

2. 地域区 組合員理事候補者 12名

(1) 西地区 3名

氏名(生年)	主 な 経 歴
クホ カナコ 久保加奈子 (1984年) (新任)	2019～2024年度 総代 2019～2024年度 大津市東地域委員(2021～2022年度委員長) 2021年～ ささえあいコーディネーター

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

コモリ ナツミ 小森奈津美 (1981年)	2012～2019年度 2013～2022年度 2020年度 2020～2022年度 2023年度～	大津市北地域委員（2019年度委員長） 総代 地域区役員推薦委員 第2エリア組合員活動委員 組合員理事
ミハラ ヨウコ 三原 証子 (1976年)	2015～2022年度 2017年度 2019年度 2020年度 2021～2022年度 2023年度～	総代 第2エリア産直・県内商品普及委員 第39回通常総代会議事運営委員 地域区役員推薦委員 情報公開審査委員 組合員理事

(2) 南地区 3名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
カガタ マミ 永田万由実 (1967年) (新任)	2009～2018年度 2013～2016年度 2015年度 2016年度 2018～2024年	総代 栗東市地域委員（2014年度委員長） 組合員活動委員 地域区役員推薦委員会 副委員長 ささえあいコーディネーター
ニシミ ミチコ 西見美智子 (1961年)	2016～2018年度 2016～2018年度 2019年 2020～2022年度 2021～2022年度 2023年度～	総代 コープ倶楽部コーディネーター ささえあいコーディネーター 総代 第3エリア組合員活動委員 組合員理事
フルカワ ユミ 古川 由美 (1986年) (新任)	2019～2022年度 2020～2022年度 2023～2024年度	守山市地域委員 総代 コープ倶楽部コーディネーター

(3) 東地区 3名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
カガタ ノボ 田端のぶ代 (1973年)	2014～2018年度 2014～2018年度 2015年度 2018年度 2019～2022年度 2023年度～	総代 東近江市西地域委員（2016～2017年度委員長） 第5エリア産直・県内商品普及委員 第38回通常総代会議事運営委員 コープ倶楽部コーディネーター 組合員理事
ツカダ アキ 塚田 亜紀 (1981年) (新任)	2018～2024年度 2019～2023年度 2023年度 2024年度	竜王町地域委員（2022年度委員長） 総代 第5エリア産直・県内商品普及委員 第5エリア組合員活動委員
モリタ カオリ 森田 香織 (1977年)	2015～2019年度 2015～2019年度 2018～2019年度 2019年度 2020～2022年度 2023年度～	総代 甲賀市東地域委員（2017年度委員長） 第4エリア組合員活動委員 第39回通常総代会議長 コープ倶楽部コーディネーター 組合員理事

(4) 北地区 3名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
フジノ ヒサ 藤澤 有希 (1980年)	2017～2018年度 2018～2022年度 2021～2022年度 2022年度 2023年度～	総代 米原市地域委員 (2021年度委員長) 総代 第7エリア組合員活動委員 組合員理事
ホヅノ ヨシミ 本庄 智美 (1979年)	2011～2021年度 2016年度 2017年度 2018年度 2018年度 2020年度 2023年度～	総代 全体区役員推薦委員 第6エリア商品開発検討委員 第6エリア産直・県内商品普及委員 第38回通常総代会議事運営委員 地域区役員推薦委員 組合員理事
ヨシムラ マチ 吉村 雅恵 (1978年) (新任)	2022～2024年度 2022～2024年度	総代 彦根市北地域委員 (2024年度委員長)

3. 全体区監事

監事候補者 5名

氏名(生年)	主 な 経 歴	
カガキ ヒデアキ 笠川 英明 (1963年) (常勤)	1986～2017年度 2017年度～	職員(組織、商品事業、監事会) 常勤監事
カヅマ イロ 中嶋 栄子 (1966年)	2000～2010年度 2000～2010年度 2010年度 2011～2016年度 2023年度～	総代 長浜市地域委員 第30回通常総代会議長 組合員理事(第10期～第12期) 組合員監事
フジノ マリ 藤澤 真理 (1966年) (新任)	2009～2014年度 2011～2014年度 2013年度 2015～2020年度 2021年～ 2022年～	総代 大津市南地域委員(委員長) 第33回通常総代会議長 組合員理事(第12期～第14期) ささえあいコーディネーター ささえあいコーディネーターリーダー
イトウ サトシ 伊藤 慧 (1981年)	2010年 2015年～ 2017年度～ 2021年～	弁護士登録(京町法律事務所) 特定非営利活動法人消費者ネット・しが理事 有識監事 特定非営利活動法人消費者ネット・しが理事長 (法律を専門とする有識監事としての役割を期待)
イトウ マサカ 伊藤 正隆 (1984年)	2009～2010年 2011～2013年 2013～2017年 2017年～ 2019年～ 2023年度～	京都監査法人 プレミアム監査法人 流通科学大学商学部(2016年～准教授) 京都産業大学経営学部准教授 吉永会計事務所(社員税理士) 有識監事 (会計を専門とする有識監事としての役割を期待)

※役員候補者の主な経歴は、内容により年度と年を区分して使用しています。

以上

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

第4号議案

組合員除名の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

定款第12条に基づき、商品代金などの支払いを怠り、催告を受けてもその義務を履行しなかった組合員107名の除名を行います。対象組合員には、第45回通常総代会の会日の5日前までにその旨を通知しています。除名対象者の名簿は、別途配布します。

組合員除名の件は、定款第61条の特別議決方法の事項として、可決には出席総代の3分の2以上の賛成が必要です。

除名対象の組合員に事前通知を行っています。この通知の結果に基づき、総代会当日までに商品代金の支払いがあった場合は、除名対象者から除外し、総代会当日、議場で第4号議案「組合員除名の件」の人数変更を提案させていただきます。なお、除名名簿の修正及び再配布は行いません。

(除名)

第12条 この組合は、組合員が次の各号のいずれかに該当するときは、総代会の議決によって、除名することができる。

- (1) 1年間この組合の事業（施設）を利用しないとき。
- (2) 供給物資の代金又は利用料の支払を怠り、催告を受けてもその義務を履行しないとき。
- (3) この組合の事業を妨げ、又は信用を失わせる行為をしたとき。

2 前項の場合において、この組合は、総代会の会日の5日前までに、除名しようとする組合員にその旨を通知し、かつ、総代会において弁明する機会を与えなければならない。

3 この組合は、除名の議決があったときは、除名された組合員に除名の理由を明らかにして、その旨を通知するものとする。

〈除名対象者名簿の取扱いについてのお願い〉

コープしがでは定款に則り、特別議案として総代が名簿を確認できるように書面で配布します。この名簿の取扱いについて以下の方法で回収します。

○第45回通常総代会議案書と一緒に配布します。

○回収は出席方法に応じて提出してください。

- ・第45回通常総代会に本人出席する総代は、閉会後に受付場所へ提出してください。
- ・第45回通常総代会に委任出席する総代は、委任した総代へ提出してください。
- ・第45回通常総代会に書面決議する総代は、書面決議書を入れる封筒に入れて提出してください。

特別決議

第45回通常総代会アピール

協同の力で平和の実現を！～戦後80年によせて～

文化や科学技術が著しい発展を遂げた20世紀は
一方で戦争の世紀とも言われ膨大な犠牲者を生みました
21世紀を迎えた現在も戦争や貧困、飢餓はやむことなく
テロやそれにとמוなう報復など、新たな脅威も広がっています

今年は戦後80年を迎えます

あなたは戦争についてどこまで知っていますか？ 関心を持っていますか？
日本には被曝によって何世代にもわたり、今もなお苦しんでいる人がいます
自分たちの正しさを信じ何かを守り手にするためには戦うしかないのでしょうか
いいえ、争いからは何も生まれません
どんなに正しいと思うことでも押し付けや暴力は平和を遠ざけます

過去を知る、学ぶ、考える

想像してみましょう
相手のこと、まわりの身近な人のことを
あの雲の下、山の向こう、海の彼方の誰かのくらしを
考えてみましょう
私の命、あなたの命、今を生きるすべての人の命の尊さを

完璧でなくていい、難しいことでなくていい
私の想いや行動を少し変えることで誰かの笑顔につながります
子どもたちの未来を守り、安心して暮らせる社会の実現につながります

「ありがとう」「大好き」を言葉で伝えてみませんか
「おはようございます」「いいお天気ですね」と声をかけてみませんか
少しでもいい、歩み寄って話してみましょう
互いを認め合い、より添いながら考える時間を大切にしましょう

ともにつくる 笑顔あふれる未来

一人ひとりの一歩から協同の力へ
誰もが安心して暮らせる平和な社会をめざしましょう！

※説明

この特別決議は、第45回通常総代会当日に総代の総意により拍手で承認する議案です。

総代のつどいを受けて 「総代会議案の運営方法の見直し」についての報告

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

総代のつどいでは「総代会議案における議場採決の方法の見直し」についてご提案しました。見直しの実施に向けて概ねご理解いただいたという認識ですが、総代のつどいでいただいたご意見についての理事会の考え方をご報告します。

まず、採決方法の見直しに関連して「『総代会運営の効率化を図ること』についての詳細の記載がなく評価ができない」という内容のご意見をいただきました。総代会運営の効率化を図る目的は次の2点です。①採決に係る時間短縮を図り、広く県下全域から参加されている総代のみなさんとお約束した時間内に総代会を終了させるため。②採決に係る職員体制の軽減を図り、総代会当日も通常と変わらず業務運営に支障が出ないように人員確保をするため。

また、「『反対票』『保留票』は、周りの目もあり心情的に挙手しづらい」との声を頂きました。理事会としては、すべての総代のみなさんに全議案とも賛同していただきたいという想いを持って、総代会議案をご理解いただくために丁寧な説明や話し合いを尽くしていきます。ただ、個人の意見や考え方にに基づき「賛同できない」ということも総代の判断として尊重されます。理事会と総代、また総代同士が、意見や考え方の違いを聴き合い、受け止め合い、認め合うことは民主主義を価値とする協同組合の運営の原則ともいえます。総代のみなさんにおかれては、「反対票」「保留票」含め、ご自身の考えのもとで判断していただければと思います。

第45回総代会からの総代会議案の運営方法の見直し実施に向けて、総代のみなさんのご理解をお願いいたします。なお、見直し後の運営方法については、総代会運営委員会で確認し進めていきます。

総代会での採決方法の変更について

総代会における議場採決の方法を見直します（第45回総代会より実施）

◇これまでは、
「賛成」のみに挙手して頂き、「賛成票」を1票ずつカウントしていました。

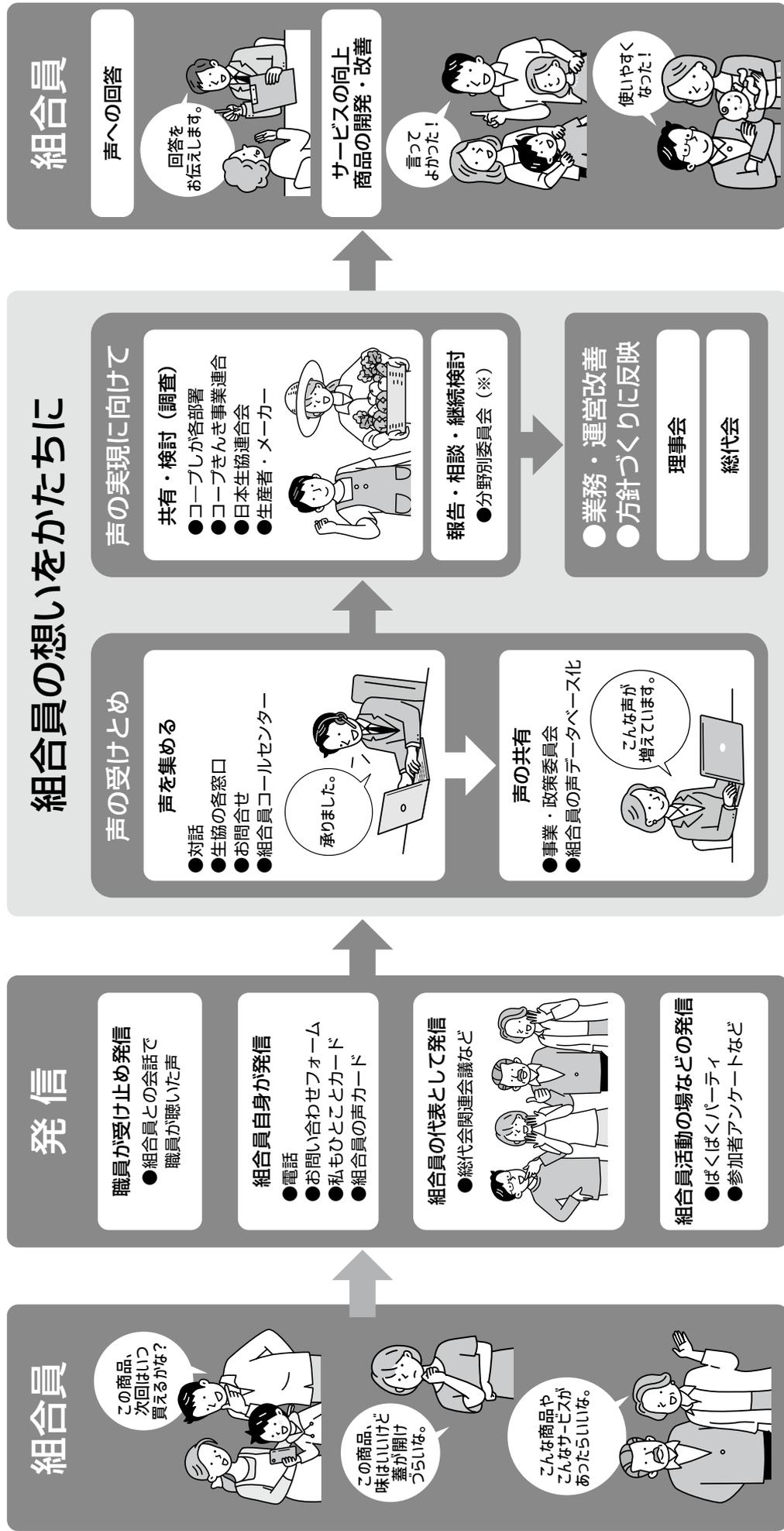
◇これからは
「反対」・「保留」・「賛成」の順にそれぞれに挙手して頂き、
「反対票」・「保留票」・「賛成票」をそれぞれに1票ずつカウントします。

但し、「賛成票」が明らかに多数と認められる場合には、総代会運営の効率化を図るために「賛成票」については1票ずつのカウントはしないことに変更します。

なお、書面議決書はこれまで通り「反対票」・「保留票」・「賛成票」を1票ずつカウントし、会場での採決に加えます。

コープしが“組合員の想い（声）をかたちにつなげる”取り組み

生協は、組合員みんなの思いと願いを実現するところです。みんなで声をあげましょう。



※分野別委員会）くらしの委員会・福祉事業委員会・宅配事業委員会・商品事業委員会・店舗事業委員会・環境政策委員会・組織運営委員会



生活協同組合コープしが

CO₂ 排出量46%削減に向けたロードマップ

コープしがの3つの取り組み

減らす

環境に優しい自動車や燃料を使用する 取り組み

環境負荷の少ない次世代車両として、ハイブリッド車(HV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、電気自動車(EV)の導入を段階的にすすめます。また、CO₂排出量を低減できるバイオディーゼルの軽油(BDF5)を継続して使用していきます。

*導入については、社会全体のインフラの整備状況や車両性能などを考慮して判断します。



減らす

創る

- 次世代車両の導入
- BDF5燃料の使用
- 森林保全活動
- 省エネ活動

減らす

創る

- 太陽光発電の活用
- 再エネ電気の使用

CO₂削減の算定範囲と目標数値について



森林保全の取り組み

CO₂の貴重な吸収源である森林の保全を「コープの森」の取り組みを通じてすすめます。その活動によるCO₂吸収量を数値化して、CO₂排出量の削減に活用します。

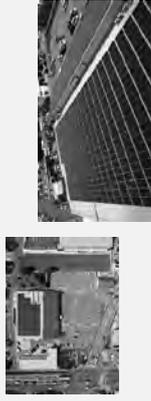


創る

太陽光発電の活用の取り組み

宅配センターや店舗などの屋根上に太陽光発電の設置をすすめ、現在では県内15事業所(宅配センター9か所、店舗4か所、その他事業所2か所)のうち、10か所の事業所に導入されています。

その発電された電気で、コープしがの本体の電気使用量の約10%をまかっています。



減らす

再生可能エネルギー由来の電気 (再エネ電気)の活用の取り組み

コープしが本体で使用する電気を、2025年度から再エネ電気に転換をすすめ、電気エネルギー由来のCO₂排出量をゼロを目指します。



2013年度比 **2030年度**
46%削減

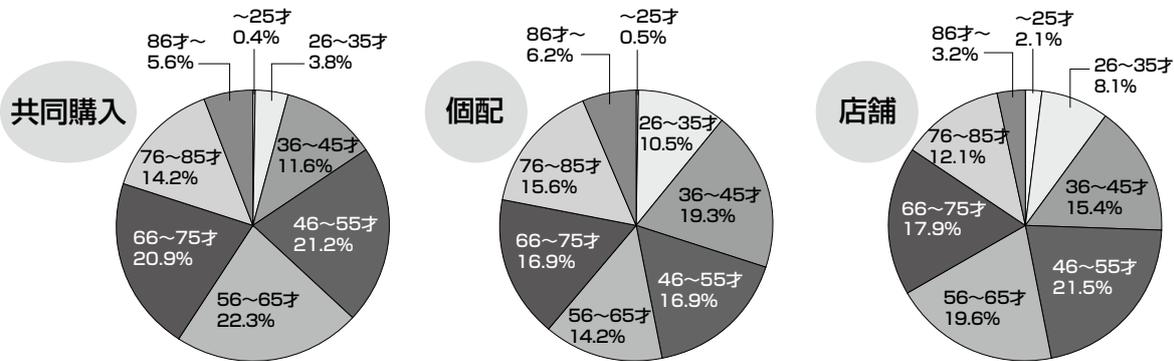
*各取り組みの実施については、より具体的な技術の進歩や社会情勢などを考慮して随時見直しします。

2024年度

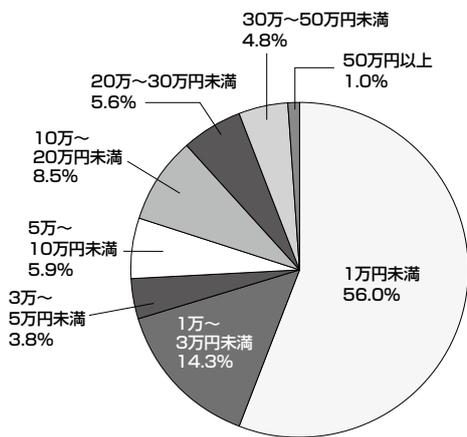
(2024年3月21日～2025年3月20日)

数字で見るコープしが

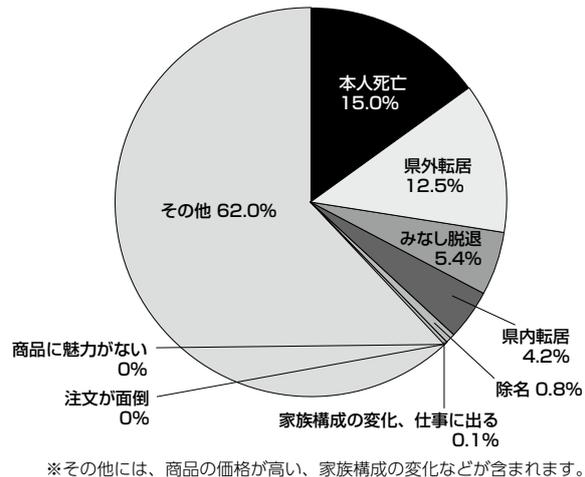
利用事業別の組合員世代別利用構成比率



出資金額別組合員構成比率



脱退理由(8,663人)



契約件数 114,752件 (前年比 101%)

【共済 契約コース別トップ5】

1位: 《たすけあい》ジュニア 1000円コース	36,174件
2位: 《たすけあい》大人向け 2000円コース (女性)	15,020件
3位: 《たすけあい》告知緩やか 1000円コース	7,191件
4位: 《あいぷらす》生命保障 300万円コース	6,663件
5位: 《たすけあい》大人向け 2000円コース (男性)	6,371件

共済事業

エネルギー 取次収入 (コープでんき)

契約件数 5,255件
取次手数料 59,573千円

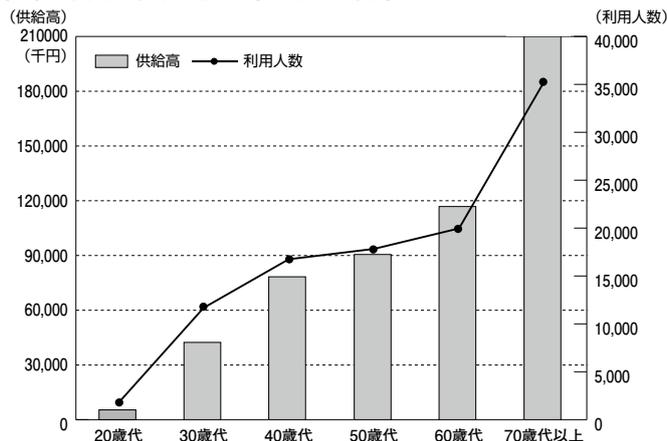
福祉の取組

介護事業

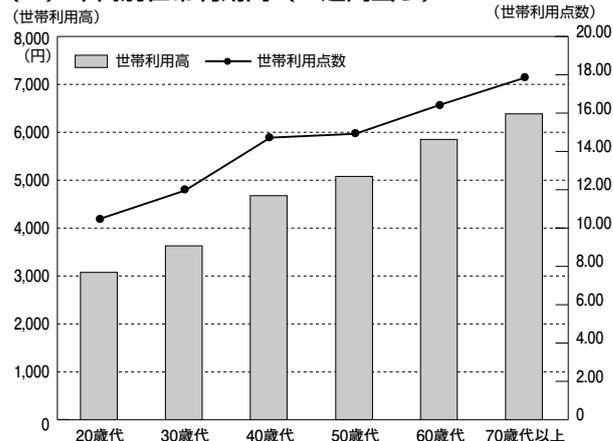
●のべ利用人数 18,838人
ヘルパーステーションぽこ野洲 (訪問介護) 14,952人 (前年度 13,528人)
ヘルパーステーションぽこ守山 (訪問介護) 2,835人 (前年度 1,350人)
ケアプランセンターぽこ野洲 (居宅介護) 1051.0人 (前年度 902.0人)
(要支援は 0.5人、要介護は 1人と概算)

宅配事業の利用状況

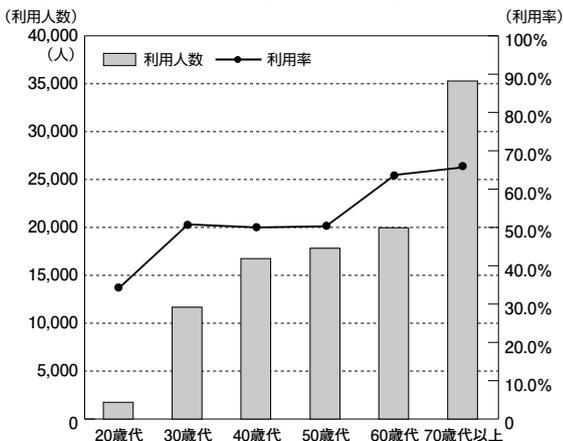
(1) 年代別総供給高 (1週間当り)



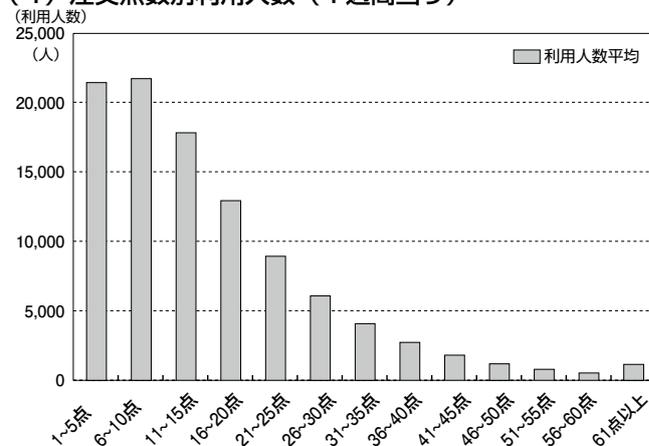
(2) 年代別世帯利用高 (1週間当り)



(3) 年代別利用人数 (1週間当り)



(4) 注文点数別利用人数 (1週間当り)

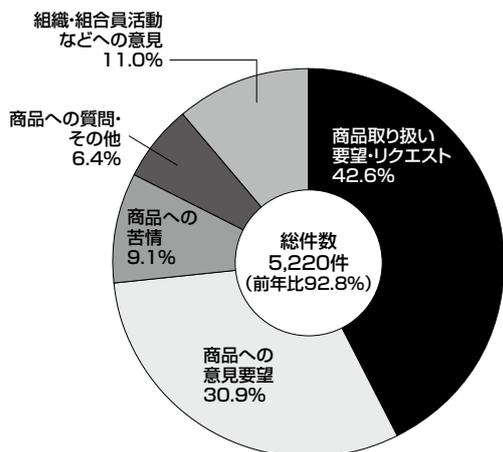


- コールセンター問い合わせ…………… 151,490件 (前年比 102.4%)
- 電話注文センター入電件数…………… 158,551件 (前年比 97.3%)
- 私もひとことカード…………… 5,220件 (前年比 92.8%)
- 店舗 組合員の声カード…………… 630件 (前年比 89.7%)
- ホームページ問い合わせ件数…………… 2,093件 (前年比 101.4%)
- eフレンズからの問い合わせ件数 …… 3,244件 (前年比 135.7%)

組合員の声

私もひとことカード(組合員の声)

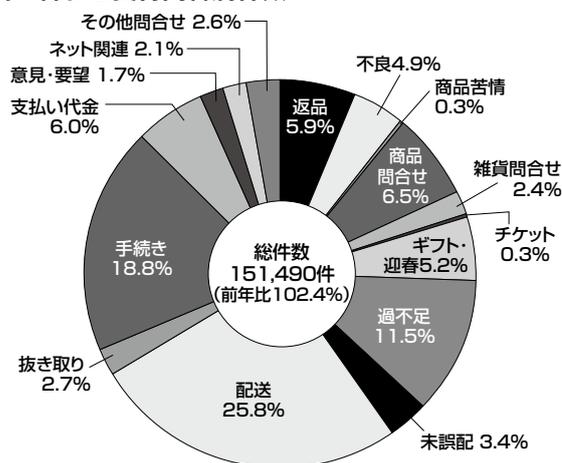
私もひとことカード内訳



組合員コールセンター電話受付状況

問い合わせ受付内容別件数

※電話注文の数値は省いています



2024年度 宅配事業部門別利用点数 トップ5

※2024年3月4回～2025年3月3回まで、53企画回

農産

1	コープ毎日バナナ(フレスカーナ)470g	631,541
2	滋賀のフリルレタス1袋(1～2株)	472,222
3	産直滋賀の小松菜150g	402,552
4	緑豆もやし(紙袋)300g(150g×2袋)	389,567
5	えのき茸200g	374,237

畜産

1	🍷 ロースハム使い切りパック(無塩せき)36g×3	130,982
2	国産合挽きミンチ(国産牛6:国産豚4)400g	101,613
3	🍷 毎日新鮮ロースハム37g×4	95,986
4	🍷 九州産若鶏のレパークうま煮130g	80,291
5	🍷 パリッとジューシーあらびきポークウインナー	74,269

たまご

1	産直こめ育ちさくらたまご10コパック600g以上	625,208
2	産直こめ育ちさくらたまご1kgパック14～18個	406,866
3	丹波のたまご10コパック(MS～2L混合)	319,788
4	生協白たまご10コパック(MS～2L混合)	312,848
5	黄身いきいき白たまご10コパック(MS～M混合)	179,577

冷食

1	🍷 九州のカットほうれん草270g	136,828
2	🍷 冷凍讃岐うどん200g×5	99,095
3	大きめ手作りあじフライ360g(6枚)	95,763
4	🍷 レンジで簡単!!むかしのコロッケ300g(5個)	88,850
5	🍷 焼おにぎり480g(10個)	85,262

2024年度 隔週自動お届け商品 トップ5

1	産直ホムトンバナナ(タイ産)	32,404
2	🍷 にがり充てんとうふ(北海道産大豆)	17,239
3	🍷 ロースハム使い切りパック(無塩せき)	10,458
4	無洗米近江米みずかがみ5kg	5,970
5	(2個)生しばり絹豆腐300g	5,352

2024年度 サービス利用事業 トップ5

1	紳士服関連(洋服の青山・はるやま・AOKI)	3,143
2	ハウスクリーニング	1,719
3	布団打ち直し・丸洗い	962
4	灯油配達	757
5	エコリング等(不用品買取)	623

水産

1	氷温甘塩さば切身 240g(4切)	123,424
2	塩秋鮭切身(甘口) 220g(4切)	72,499
3	🍷 子持ちからふとししゃも 160g	64,916
4	🍷 ふくらしらす干し(個食パック) 25g×3	61,503
5	ししゃもみりん干し 70g	58,503

日配

1	🍷 北海道の小粒納豆(たれ・からし付) 45g×3	851,206
2	🍷 ちくわ 104g(4本)	444,022
3	明治ブルガリアヨーグルトLB81プレーン 400g	314,294
4	🍷 にがり充てんとうふ(北海道産大豆使用)200g×2	304,577
5	国産大豆のべんりな木綿豆腐 300g(2個)	269,903

牛乳

1	🍷 生協牛乳120 1000ml	1,284,854
2	🍷 成分無調整北海道牛乳 1000ml	707,021
3	🍷 産直低脂肪牛乳 1000ml	349,841
4	🍷 生協牛乳85 1000ml	154,401
5	白バラからだにカルシウム+鉄《キャップ式》	68,652

2024年度 毎週自動お届け商品 トップ5

1	🍷 生協牛乳120 1000ml	1,018,389
2	産直こめ育ちさくらたまご10個	530,972
3	🍷 北海道の小粒納豆45g×3	467,727
4	産直こめ育ちさくらたまご1kg	321,039
5	🍷 産直低脂肪牛乳1000ml	269,371

2024年度 県内商品 トップ5

1	産直滋賀県産生しいたけ(菌床栽培) 100g	98,790
2	野洲きたなかふあーむのきゅうり2本	61,999
3	産直近江鶏皮なしむね300g	48,723
4	産直近江鶏もも250g	27,268
5	油あげ2枚入	26,253

2024年度 店舗事業利用点数 全店でのトップ5

1	コープ成分無調整北海道牛乳1000ml	285,257
2	キュウリ(バラ)	270,334
3	国産牛・豚合挽きミンチ	151,808
4	赤玉玉子定重量10個パック	126,601
5	🍷 生協牛乳120 1000ml	124,601

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

コープしがと行政や他団体などとのつながり

コープしが 市町別加入状況

市町名	組合員数 (2025年3月20日現在)			世帯数 (県統計 2025年2月1日)	加入率
	宅配	店舗	合計		
大津市	43,289	23,962	67,251	156,782	42.9%
彦根市	14,320	944	15,264	51,977	29.4%
長浜市	15,886	7,108	22,994	44,693	51.4%
近江八幡市	9,588	422	10,010	33,183	30.2%
草津市	14,095	2,228	16,323	70,795	23.1%
守山市	9,130	8,737	17,867	33,586	53.2%
栗東市	7,212	3,036	10,248	27,129	37.8%
甲賀市	11,075	230	11,305	35,010	32.3%
野洲市	6,114	1,522	7,636	20,222	37.8%
湖南市	5,920	448	6,368	23,111	27.6%
高島市	7,739	315	8,054	19,612	41.1%
東近江市	14,136	272	14,408	45,525	31.6%
米原市	5,324	2,015	7,339	14,081	52.1%
日野町	2,633	44	2,677	8,736	30.6%
亀王町	1,481	52	1,533	4,362	35.1%
愛荘町	2,691	53	2,744	8,493	32.3%
豊郷町	761	24	785	3,026	25.9%
甲良町	1,188	55	1,243	2,344	53.0%
多賀町	803	28	831	2,779	29.9%
合計	173,385	51,495	224,880	605,446	37.1%
県外他	-	-	782	-	-

※県外他は、脱退予約組合員と所在不明組合員を含みます。

行政や他団体との主な関わりの紹介

滋賀県	滋賀県児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン (淡海フィランソロピーネット)
	おうみ犯罪被害者支援センター (賛助会員)
	滋賀県安全なまちづくり協賛・子ども110番
	滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会「三方よしフードエコ推奨店」
	琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会
	「しが生物多様性認証制度」3つ星の認証
	滋賀県イクボス宣言
	わたSHIGA輝く国スポ・障スポオフィシャルサポーター
高島市社会福祉協議会	高島市福祉のまちづくり推進委員会
	見守りネットワーク活動推進会議委員
高島市	高島市生活支援体制整備協議体会議委員
	(受託) 高島市おむつ等支給子育て応援業務委託事業 (おむつおとどけ みまもり便) ★
大津市社会福祉協議会	大津市社会福祉協議会評議員
大津市	大津市生涯学習推進会議評議員
	大津市協議体連携会議委員
近江八幡市	近江八幡市高齢者虐待防止ネットワーク会議委員
	近江八幡市見守り活動担当者会議委員
	近江八幡市商助推進会議委員
	(受託) 近江八幡市乳児おむつ等支給子育て支援業務委託事業 (おむつおとどけ みまもり便)
東近江市社会福祉協議会	地域支え合い推進協議体 (いっそう元気東近江) 委員
東近江市	(受託) 東近江市乳児おむつ等支給委託事業 (東近江市見守りおむつ宅配便)
	東近江市さわやか環境づくり協議会委員
甲賀市	(受託) 甲賀市おむつ等支給子育て支援業務 (こうかおむつ便)
	災害福祉ネットワーク委員

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

湖南省	第一層地域ささえあい推進会議
彦根市	彦根市地域ケア推進会議・生活支援体制整備事業第一層協議体/テーマ別部会
甲良町	(受託) 甲良町乳児おむつ等支給委託事業 (甲良町見守りおむつおとどけ便)
守山市	守山市ごみ・水環境問題市民会議委員
社会福祉法人しがぎん福祉基金 評議員	

※2024年度から新たに参加している協議体および活動等について欄外に★マークをつけています。

行政との「地域見守り協定」「防災協定」「環境」「包括連携」などの締結一覧

協定先	協定の名称	年月日	
大津市	環境保全協定	2001年10月25日	
大津市	災害時における生活物資の調達等に関する協定	2005年1月13日	
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定	2017年11月16日	
大津市	包括連携に関する協定	2024年12月17日	★
高島市	災害時における生活物資の調達に関する協定	2005年6月22日	
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定	2014年3月26日	
高島市	在宅介護用品助成券交付基本協定	2014年11月11日	
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2013年3月28日	
栗東市	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定	2024年6月5日	★
守山市	災害時における生活物資の調達に関する協定	2015年12月24日	
守山市	災害時における一時避難場所としての使用に関する協定	2015年12月24日	
守山市	守山市と生活協同組合コープしがとの包括連携に関する協定	2024年3月26日	
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定	2017年3月28日	
近江八幡市	災害時における生活物資の調達等に関する協定	2006年2月14日	
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定	2014年8月25日	
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書	2006年4月4日	
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定	2022年2月24日	
竜王町	竜王町まちづくりに関する包括連携協定	2022年3月24日	
甲賀市	包括連携に関する協定	2025年1月27日	★
湖南省	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定	2021年11月24日	
彦根市	災害時における生活物資の確保および調達等に関する協定	2007年1月17日	
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定	2015年3月30日	
愛荘町	災害時における生活物資の供給に関する協定 (更新)	2013年12月25日	
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定	2015年12月16日	
豊郷町	まちづくりに関する包括連携協定	2022年6月27日	
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2016年4月20日	
多賀町	多賀町と生活協同組合コープしがとのまちづくりに関する包括連携協定	2023年3月27日	
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定	2012年10月3日	
長浜市	長浜市・地域の安心見守り活動に関する協定	2013年6月20日	
長浜市	災害時における生活物資供給等の協力に関する協定	2023年3月23日	
長浜市・長浜市社会福祉協議会・地域づくり協議会	長浜市余呉・上草野地域コミュニティの活性化に関する連携協定	2023年3月23日	
長浜市・長浜市社会福祉協議会・地域づくり協議会	長浜市西黒田・神田・田根地域コミュニティの活性化に関する連携協定	2024年2月7日	
滋賀県	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議への協賛 (子ども110番)	2007年4月2日	
滋賀県	高齢者に向けた消費者被害防止のための啓発に関する協定	2016年11月30日	
滋賀県	伝えよう「たべる*たいせつ」滋賀の健やかな暮らしを支える食と農に関する協定	2018年2月2日	
滋賀県	三方よしフードエコ推奨店	2020年1月20日	
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定	2021年3月18日	

※物資調達等の協定は、コープしがの事業所が所在する市町との締結を進めています。滋賀県全域では、滋賀県と滋賀県生協連が締結している協定で、コープしがは滋賀県生協連の一員として滋賀県からの要請を受けて県下の災害に対する支援を行うこととなります。

※行政とは、災害や見守り、まちづくりなど包括的な内容の締結を進めています。

※2024年度から新たに締結した協定について欄外に★マークをつけています。

他団体との「フードバンク」「災害」「包括連携」などの締結一覧

滋賀県生協連	災害時における商品調達に関する協定	2006年1月20日
守山市勝部自治会	災害協定	2015年10月21日
油藤商事株式会社	災害時における物資の供給に関する協定	2018年11月24日
フードバンク滋賀	食品の提供・譲渡に関する合意 (店舗の季節商品提供)	2016年12月26日
フードバンク滋賀	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2020年10月13日
フードバンクびわ湖	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2020年10月13日

フードバンクながはま	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2022年5月6日
甲賀市社会福祉協議会	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2022年4月1日
滋賀県社会福祉協議会	滋賀県社会福祉協議会と生活協同組合コープしがとの包括連携に関する協定	2022年1月14日
草津市社会福祉協議会	つながりチューリップ協定	2022年7月6日
長浜市社会福祉協議会	地域福祉推進に関する包括連携協定	2023年2月6日

商品や環境などのつながり

大山乳業農業協同組合	新たな産直牛乳の供給開始を記念しての協同組合間協同に関する協定	2009年5月25日
全国農業協同組合連合会滋賀県本部	滋賀県産農産物の維持拡大に関する協同組合間協同の協定	2021年4月28日
甲賀農業協同組合	地場産提携に関する協同組合間協同の協定	2015年12月18日
タイ産無農薬栽培ホムトンバナナ栽培管理グループ	国際産直および平和と友好に関する協定	2017年9月22日
油日・上野共有生産森林組合	琵琶湖森林づくりパートナー協定	2013年10月29日
多賀町・大滝山林組合	琵琶湖森林づくりパートナー協定	2024年12月10日 ★
レーク滋賀農業協同組合	地場産提携に関する協同組合間協同の協定	2022年6月2日
レーク滋賀農業協同組合	事業連携に関する協同組合間の協定	2024年4月5日
グリーン近江農業協同組合(JAグリーン近江)	協同組合間協同にかかる包括連携に関する協定	2024年11月11日 ★
知内農業組合(滋賀県)	しがのふるさと支え合いプロジェクト協定	2022年11月10日

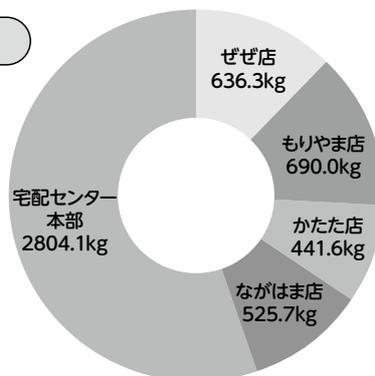
※2024年度から新たに締結した協定について欄外に★マークをつけています。

みんなで取り組んだ募金など (2025年3月20日まで)

募金名	参加人数	送金額
●ユニセフ・一般募金	6,532人	6,895,031円
(内、1,956,545円ミャンマー指定募金)		
●ハンガー・フリー・ワールド(書き損じハガキ回収キャンペーン)	2,280人	3,721,186円
●令和6年能登半島地震及び能登豪雨災害募金	4,578人	5,139,729円
●しが子どもの笑顔サポート基金		1,506,975円
●利用登録米利用による「滋賀応援寄付」(1点1円)		363,000円
●産直もずく利用による珊瑚基金(1点1円) (「美しい海の珊瑚を守る運動・珊瑚再生事業寄付金」)		79,773円
●沖島アイス利用寄付(1点10円)		2,840円
●全国の生協とともに取り組む募金		
CO・OPレッドカップキャンペーン(1点1円)(※10月1回~11月1回)		63,800円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック1円)		37,506円
CO・OPコアノンスマイルグリーンプロジェクト(1パック1円)		143,821円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン(1点0.5円)		25,444円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点1円)		13,195円

フードドライブ

コープしがの全事業所に、
フードボックスを設置しています



宅配在庫商品寄付

1,603,555円相当
子ども食堂や貧困家庭に社会福祉協議会を通じて食品をお届けしています

「笑顔あふれるコープしが基金」として団体へ支援

2022年度以降2030年まで市民活動ができる助成金として支援、淡海文化振興財団（淡海ネットワークセンター）未来ファンドおうみ「笑顔あふれるコープしが基金」へ寄付をしています。

「2024年度助成団体」

- 団体名 びわこ環境サークル
（事業名：未来の自然エネルギーの燃料電池、温度差発電、振動発電を体験しよう！）
- 団体名 ははこ
（事業名：ママが笑って子育てサポート）
- 団体名 こどものノリシロ
（事業名：ヒゲじいの親子でワクワク自然とあそぼう！）

「2025年度助成団体」

- 団体名 湖城が丘サロン
（事業名：地域高齢者の集い、交流を支援する湖城が丘サロン）
- 団体名 hachimom
（事業名：産後親子に安心を生み出すためのベビーシャワーと産前クラス）
- 団体名 ままもののわ～Moms without Borders～
（事業名：外国にルーツのある家族と日本人家族の交流会）

コープしができるコトづくり助成団体

■活動助成団体

- 任意団体 共生のまち演劇プロジェクト実行委員会
事業名：共生のまち演劇プロジェクト
- 特定非営利活動法人 くらすむ滋賀
事業名：街道文化を百年先の世代へつなぐ目川立場復活プロジェクト
- 任意団体 地域とアートプロジェクト実行委員会
事業名：堅田*はまさんぽ アートプロジェクト 2024

■はじめて助成団体

- 任意団体 陽だまり 安
事業名：子どもも大人も みんなの居場所
- 任意団体 減災 My Town 風呂敷プロジェクト
事業名：減災 My Town 風呂敷プロジェクト
- 任意団体 ママとパパを支える会
事業名：集まって話して楽しんで子育てしよう
- 市民活動団体 すまいる
事業名：おいでやす わくわくこどもタウン まちづくり活動

■活動助成団体

- 任意団体 スマイル甲賀
事業名：不登校の生徒・児童の居場所の取組に向けて
- 認定NPO法人 びわこ豊穡の郷
事業名：目田レンジャー ホテルを守ろうプロジェクト！！
- 任意団体 全国ギャンブル依存症家族の会 滋賀
事業名：ギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く周知するために普及活動を行うこと

2025年度申請団体

■はじめて助成団体

- 任意団体 太陽十月
事業名：地域の福祉輸送を支えるヒトとできるコトを増やすプロジェクト
- 任意団体 葛川共創ネットワーク
事業名：休耕田を活用した中山間地域でつくる農園
- 任意団体 訪問型子育て支援 コウノトリ
事業名：子育て支援
- 任意団体 食養サークル あさはれ
事業名：親子で学ぶ食養の知恵
- 任意団体 翔んでびわ湖
事業名：大人のびわ湖エコスクール

■活動助成団体

- 任意団体 瀬田東国際交流クラブ
事業名：世界の文化をみんなでワクワク体験しよう！
- 任意団体 戦争体験を語り継ぐ会
事業名：80年されど80年 ～語り継ぎたい記憶を未来へ～
- 任意団体 Birth For the Future@しが
事業名：BFF @しが #女性が望む継続ケア #選べるお産 SHIGA #安心できる出産体験

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的なニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人びとの自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

【第1原則】 自発的で開かれた組合員制

協同組合は、自発的な組織である。協同組合は、性別による、あるいは社会的・人種的・政治的・宗教的な差別を行わない。協同組合は、そのサービスを利用することができ、組合員としての責任を受け入れる意志のある全ての人びとに対して開かれている。

【第2原則】 組合員による民主的管理

協同組合は、その組合員により管理される民主的な組織である。組合員はその政策決定、意志決定に積極的に参加する。選出された代表として活動する男女は、組合員に責任を負う。

単位協同組合では、組合員は（一人一票という）平等の議決権をもっている。他の段階の協同組合も、民主的方法によって組織される。

【第3原則】 組合員の経済的参加

組合員は、協同組合の資本に公正に拠出し、それを民主的に管理する。その資本の少なくとも一部は通常、協同組合の共同の財産とする。組合員は、組合員として払い込んだ出資金に対して、配当がある場合でも、通常、制限された率で受け取る。組合員は、剰余金を次の目的のいずれか、または全てのために配分する。

- ・準備金を積み立てることにより、協同組合の発展のため、その準備金の少なくとも一部は分割不可能なものとする。
- ・協同組合の利用高に応じた組合員への還元のため
- ・組合員の承認により他の活動を支援するため

【第4原則】 自治と自立

協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である。協同組合は、政府を含む他の組織と取り決めを行ったり、外部から資本を調達する際には、組合員による民主的管理を保証し、協同組合の自主性を保持する条件において行う。

【第5原則】 教育、訓練および広報

協同組合は、組合員、選出された代表、マネジャー、職員がその発展に効果的に貢献できるように、教育訓練を実施する。協同組合は、一般の人びと、特に若い人びとやオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる。

【第6原則】 協同組合間協同

協同組合は、ローカル、ナショナル、リージョナル、インターナショナルな組織を通じて協同することにより、組合員に最も効果的にサービスを提供し、協同組合運動を強化する。

【第7原則】 コミュニティへの関与

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じて、コミュニティの持続可能な発展のために活動する。

第45回通常総代会の開催について

日時 2025年6月19日(木) 10時~12時(予定)
会場 栗東芸術文化会館さくら 大ホール (JR 栗東駅東口から徒歩5分)

<第45回通常総代会予定議案(案)>

第1号議案 2024年度事業報告・決算関係書類承認の件

2024年度第44回通常総代会で承認された活動計画、事業計画に基づいた1年間の活動の報告と、決算関係書類の確認、剰余金の処理の仕方などについての議案です。

第2号議案 2025年度活動計画・収支予算承認の件

2025年度の活動計画や事業計画、収支予算についての議案です。

第3号議案 任期満了に伴う役員選任の件

第4号議案 組合員除名の件

特別決議 第45回通常総代会アピール

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料



第44回通常総代会

※万一、総代会開催中に地震、火災、その他会場内の事故の発生など不測の事態発生により、議事進行が困難になった場合には、後日、延会または継続会を開催する場合があります。

2025年度組織活動一覧

更新日：2025/3/28

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

特別決議

附属資料

	たべる🍴たいせつ	びわこ🌿たいせつ	いのち🍀たいせつ	ちいき🏡たいせつ	くらし🏠たいせつ	その他
4月		(組C) コープ 森の学校 (4/12)	(組S) ハンガーフリーワールド (3/24~5/31) (組B) いのちの大切さを考える学習会 (4/2)			【表示①】主催 西南東北組 他 (他団体・他部署)
考えてやってみよう！5つのたいせつ活動 (仮) ※通年企画 (たべる、びわこ、いのち、ちいき、くらし、健康)						
5月	(西南A) ファーマーチャレンジ隊 (全地区A) 田植え・稲刈り (全地区・組B) 大豆プロジェクト	(西A) 知内ふるさと支え合い生きもの田植え (5/25)	(組B) 県内戦争遺跡めぐり (5/31)			【表示②】募集予定 S 100名以上 A 50~99名 B 20~49名 C 19名以下
6月	(全地区C) たべるたいせつ親子倶楽部 (6/7・14) (本部A) 知ってね!交流フェス (6/28)	(西A) 知内ふるさと支え合い生きもの観察会 (6/22) (他南東C) ゆりかご水田生き物観察会 (栗見出在家: 6/8、須原: 6/22) (組S) ライトダウンキャンペーン		(組C) 認知症学習会		
7月	(西南A) ファーマーチャレンジ隊 (西A) 知ってね!交流フェス		(組S) 大友剛マジックと音楽と絵本のコンサート (7/26)		(組S) お手伝いBINGO (通年)	【その他】 アンダーライン: リアルタイム参加 太字: 2025年度追加企画
8月	(東A) 知ってね!交流フェス (北A) 知ってね!交流フェス		(組C) ピースアクションinヒロシマ	(組B) アンガーマネジメント講座		
9月	(南A) 知ってね!交流フェス (全地区A) 田植え・稲刈り	(西A) 知内ふるさと支え合い稲刈り (9/13) (組S) びわこ清掃ウォーク (9/27)		(組C) できるコト講座		
10月	(西南A) ファーマーチャレンジ隊 (組B) オータムキャンプin鳥取 (西A) 知ってね!交流フェス (東A) 知ってね!交流フェス (北A) 知ってね!交流フェス (組) 食品ロス削減啓発		(組S) 平和の折り鶴昇華再生製品	(組C) できるコト講座	(組B) 震災を忘れないスタディツアー	
11月	(南A) 知ってね!交流フェス (東A) 知ってね!交流フェス (組S) 健康イベント (11/16)	(組C) 自然とあそぼう&木こり体験	(他S) ピースコンサート (11/8)	(組C) できるコト相談会		
12月	(全地区C) たべるたいせつ親子倶楽部 (11/29、12/6)	(組S) エコライフキャンペーン				
1月	(南A) 知ってね!交流フェス					
2月	(組S) 商品大交流会 (組B) 大人のオンライン企画				(全地区C) 親子で防災	
3月	(西A) 知ってね!交流フェス (北A) 知ってね!交流フェス		(組C) ピースアクションinオキナワ		(組B) 震災を忘れない交流会&職員スタディツアー	

2025年度 総代会議案検討会議 開催日程と場所

No.	開催日	時間	会場・オンライン
①	4月17日(木)	10:00	甲賀市まちづくり活動センターまる一む 2階多目的室
②		10:00	コープしが ゆめふうせん
③		13:30	コープしが ゆめふうせん
④	4月18日(金)	10:00	米原学びあいステーション 3階
⑤		10:00	コープしが 本部 2階
⑥		18:00	■ (オンライン)
⑦	4月19日(土)	10:00	コラボしが21 3階
⑧		10:00	ウイングプラザ栗東 4階
⑨	4月20日(日)	10:00	コープしが 彦根センター 2階
⑩	4月21日(月)	10:00	市民産業交流促進施設 ここぴあ
⑪		10:00	守山市民ホール 2階
⑫		15:00	■ (オンライン)
⑬	4月22日(火)	10:00	神照まちづくりセンター
⑭		10:00	大津市生涯学習センター 4階
⑮	4月23日(水)	10:00	滋賀県婦人会館 会議室
⑯		10:00	プロシードアリーナ HIKONE 2階
⑰		14:00	フェリエ南草津 5階
⑱	4月24日(木)	14:00	■ (オンライン)
⑲	4月25日(金)	10:00	アグリパーク竜王 (環境改善センター) 2階農事研修室
⑳		10:00	キラリエ草津 5階
㉑		13:30	キラリエ草津 5階
㉒	4月26日(土)	10:00	■ (オンライン)
㉓	4月27日(日)	10:00	コープしが 高島センター 2階
㉔	4月28日(月)	10:00	勤労者福社会館 臨湖 2階
㉕		10:00	コラボしが21 3階
㉖	4月29日(火)	10:30	アピア (アル・プラザ八日市) 4階研修室
㉗		10:00	■ (オンライン)

※ご都合のよい会場にご参加ください。

※全会場2時間を基本に開催します。進行状況により閉会時間の短縮や延長をすることがあります。

※リアル会場やオンライン会場ともに開始20分前から受付をはじめます。余裕をもって来場やオンライン入室してください。

※会場により参加人数に大きな偏りが出た場合は、地区運営事務局より出席予定の会場変更など調整をお願いすることがあります。予めご了承ください。